

岡山歯会報



小林会長 年頭のご挨拶

「無膠の学問的証憑を基盤とし…」

〈p2〉

我ら年男・年女一言申ス

「海征かば水漬く…」

〈p20〉

第69回全国学校歯科保健研究大会

自ら学び、自ら考え、そして実践へ —

〈p26〉

輝いて！ おかやま大会 マウスガード作製ボランティア

自分の仕事を通じて社会に貢献できる喜びを…

〈p30〉

2006 **1** vol.708

岡山県歯科医師会



目 次

年頭のご挨拶	岡山県歯科医師会会長 小林 敏郎	2
年頭所感	日本歯科医師会会長 井堂 孝純	4
謹賀新年	岡山県歯科医師会	5
厚生労働大臣表彰受賞		7
平成17年度日本歯科医師会会長表彰受賞		7
平成17年度岡山県学校保健会表彰		7
中国地区歯科医師会連合会表彰		8
平成17年度岡山県保健衛生功労者表彰		8
平成17年度岡山県医療功労者表彰		8
岡山県歯科医師会会長選挙のお知らせ		9
Open the 理事会		14
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日（1月・2月）		17
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー（17）		18
我ら年男・年女一言申ス		20
第69回全国学校歯科保健研究大会		26
輝いて！おかやま大会 マウスガード作製ボランティア		30
厚生部 共済事業部会 4月より共済給付事業が「県歯新共済」として再スタートします！		34
学術部 ご案内 感染予防講習会		35
お願い 平成16・17年度生涯研修カードの提出について		35
ご案内 平成17年度実施生涯研修ライブラリー実費（有料）頒布について		36
厚生部 文化事業部会		37
医療管理部 平成17年度 日本歯科医療管理学会中国支部学術大会 参加報告		40
支部・モニター通信 岡山支部		47
児島支部		47
玉野支部		49
赤磐支部		50
関連学校だより 平成18年度 笠岡歯科技工専門学校 臨床研修コース募集要項		50
リレー随筆 「習い事三昧!!」	赤磐支部 川合 智二	51
こちら編集室		52
訃報		53
会員異動		53
平成17年度国保請求書出向受付実施計画		53
事務局だより 1月の収納金		54
11月 会の動き		54
1月・2月 本会の予定		55
1月・2月 支部の予定		56

<http://www.odanet.org>.

■題 字 岡山支部 三浦 晰 先生

■表紙写真 「夢の園」写真提供 緑川洋一記念室



ご 挨拶

岡山県歯科医師会
会 長 小 林 敏 郎

日月如流、亦新しい年が巡って参りました。会員各位始め、ご家族皆様にはお揃いで佳い初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。私共執行部も皆様の暖かいご協力を戴き、厳しい斯界での一年を大きな蹉跌もなく切り抜け得ましたことは感慨無量であり感謝に堪えません。仮初でも本年こそ安寧であって欲しいと願う年の始めであります。

日歯では今、代議員に選挙人を加えた650名により、次期3年間の日歯を担う会長選挙の真最中です。興望を担うこの650名の責務は此の上もなく重いものと思っております。慾、情、^{しがらみ} 柵を始めとする総ての邪念を捨て、唯、^{ひたすら} 一向に候補者の真を見詰め、時代に即応した日歯会長に相応しい人物を選び、3月の代議員会での決議を俟ちたいと思います。選ばれた会長は、広く人材を野賢に求め、6万5千会員の肺腑の叫びに耳を傾け、命懸けで国民の口腔保健と会員の權益確保を貫いて戴くことを熱願して止みません。

本会からは、日歯再建を願い中国・四国・九州3地区の推薦を戴き日歯中枢に次期監事として原 武史副会長を送り込む努力を致しておるところであります。

一方、本会の昨年は特に多忙を極めました。執行の要旨は総て会報でご報告しておりますが、過ぎた事への反省を試みる暇もなく、前に向かって駆け抜けたような思いであります。

中国地区当番県としての大きな事業の1つである中国地区歯科医学大会も、好評のうちに終了しました。特に「歯科医療が日本を変える」と題した櫻井 充参議院議員の記念講演では、我々がこれから立ち向って行かなくてはならない諸課題についての的確な提言、示唆を戴きました。又、国が見落として多くの歯科保険に関する問題点を国民の俸せの為に1つずつ丁寧に拾い上げ整理、解決に働いておられる姿は政界に明るく輝く星を見る思いが致しました。

11月には県歯で初めてという全国大会「第69回全国学校歯科保健研究大会」を岡山市で開催しました。学校歯科保健を通じ、真に心身共に強健な人生を自ら掴み取る活力ある国民の育成に資することが出来たものと確信致しております。全国各地の参加者から大きな讃辞を戴けましたのも、記念講演をお引き



受け戴いた江草安彦博士を始め、参加者各位の活発な口演ご討議と、役員を始め会員、県歯職員の皆様又、衛生士学院学生諸君の孜孜としたご助力の賜物と感謝致しております。

安全であってこそ本来のスポーツであるとの観点から、カスタムメイドのマウスガードの普及を考え、過日の「輝いて！岡山大会」に参加のバスケットボール選手へマウスガードの無償提供を行いました。技工士会、衛生士会、材料商組合の皆様も会員と共に多大なご奉仕を戴きました。寝食を忘れてのご奉仕は心に沁みました。県歯科界一丸となつての社会貢献は、TV・新聞に依る報道もあり、社会から大きな信頼を戴けたものと思います。先日、石井岡山県知事からの感謝状も戴きました。今後も機会ある度にこのような社会的な貢献を行い、公益法人としての実績を積んでゆくことが肝要であると考えます。又、昨年もランチプロジェクトに暖かいご協力を賜り感謝にたえません。

次に本会附属の衛生士学院も愈々3年制となり、名称も「岡山高等歯科衛生専門学院」と替え、新校舎も2月中に落成し4月には新入生を迎える運びとなっております。より学識の高い衛生士の育成に向け講師、職員一同精進して参る所存であります。又、先達により1971年に建設されました本会会館も35年の歳月を経過し、处处に危険を伴う綻びも出て参り、機能面も配慮しながら改修工事を行ない過日完了しましたことも併せてご報告致します。

国は挙げて社会保障費、就中医療費の抑制に躍起になっております。過日の衆議院選挙での与党の圧勝により、医療界は一層の厳しさを増して参ることと思います。

世界に冠たる国民皆保険制度により、我が国の医療評価は世界一位であるにも拘らず、医療費はOECD加盟28カ国の平均にも満たないとされている現状の中で、医療費亡国論まであるやに聞きます。歯科界の行く末に大きな危惧を覚えずにはおられません。この現状に苦しむ歯科界にとって如何なる手立てがあるのだろうか、多くの膏血を費し多くの挑戦も試みられたであろうに……。

経済効率と安全で良質な医療は相容れないものがあると思います。国との折衝を行う組織は国民の命を守るための大きな責任があります。日歯には歯科界の一翼である歯科医学会と一体となり、無膠の学問的証憑^{しょうひょう}を基盤とし国との折衝、世論への説明を充実せしめる努力を求めます。勿論、吾々一人ひとりの会員も相呼応してゆかなくてはならないことは論を待ちません。

私の任期も余すところ3ヶ月となりました。心は途方もなく苛立ちますが、最後迄、私は会員の何たるかを身中に強抱し残日を完うします。

最後になりましたが会員各位のご協力に心から感謝申し上げ、本年も会員皆様始めご家族の益々のご健勝をお祈りしご挨拶といたします。



年 頭 所 感

社団法人日本歯科医師会
会 長 井 堂 孝 純

平成18年の新春を迎え、心よりお慶びを申し上げます。

各都道府県歯科医師会の皆様には、常日頃から日歯を支えていただき深く感謝しております。本年も何卒よろしくお願いいたします。

昨年は、日本歯科医師会の改革と再生に向けて、都道府県歯の皆様とともに一丸となって前進を始めた記念すべき一年でありました。一昨年12月に提出されました日歯改革検討委員会の第一次答申の幾つかの提言は、既に具体的施策として実っており、改革の歩みは着実に進んでいると自負いたしております。

ところで、年末から年始にかけての大変あわただしい時期に会長選挙が行われております。これは、多くの会員の意思を反映した新しい選挙方法によるものであり、改革のひとつであることをご理解していただきたいと存じます。

私は、これまで日歯改革・日歯再生の先頭に関わってまいりましたが、その志の道半ばで投げ出すわけにはいかない、という強い思いから再度立候補いたしました。立候補に当たって私が示しました、「歯科医業経営の安定化と良質な歯科医療の提供」こそ、日歯が取り組まなければいけない最重要課題であると確信しております。

改革検討委員会からは昨年11月、歯科医師会と歯科医師の課題について、国民と患者の立場から指摘した最終答申をいただきました。私が訴えるテーマこそ、答申に応える道筋のひとつと考えます。

ご承知のように本年は、医療制度改革が実施される大事な年であります。社会保障の理念を追求し、国民皆保険制度の堅持を貫くと同時に、地域医療の向上に貢献していくことが、私たち歯科医師の使命です。本格的な少子・高齢化社会を迎え、歯科医療を通じて国民の健康を守るためにも、診療報酬が適正に評価されなければなりません。

ところが、昭和56年以降の薬価財源振替方式により、歯科診療報酬の引き上げ率は低く抑えられたまま推移し、追い討ちをかけるように平成14年度のマイナス改定、平成16年度のゼロ改定により、歯科医業経営は危機的状況に陥っております。昨秋の衆議院選挙後に厚生労働省が発表した「医療制度構造改革試案」や経済財政諮問会議の意見は、患者と高齢者にさらなる負担を強いる内容であり、到底許すことはできません。



診療報酬改定対策としましては、日本歯科医学会と連携し、中医協委員をサポートしていくために、特定療養費制度への対応を始め、新たにワーキンググループを設置し、国民の視点を重視した上でのEBMに基づいた診療報酬体系の構築を目指しております。

国民歯科医療、という観点では、肥満、糖尿病、高血圧などメタボリックシンドローム対策の中で歯科がどのようにアプローチできるかも重要課題のひとつです。この対策を進めるためにも、各都道府県の健康増進計画に歯周病検診の必要性を明記していただくことや、介護サービスを提供するために市区町村の地域包括支援センターの運営協議会に歯科医師会も積極的に参画することが重要であり、都道府県・郡市区歯科医師会を通じて関係方面へ働きかけをお願いいたしました。

歯科界には多くの課題が山積しております。改革検討委員会の最終答申を真摯に受け止め、国民の利益を優先させた歯科医療活動に引き続き全力をあげます。そして、皆様が、歯科医療最前線で日々活動されておられることに深く敬意を表し、今後とも、生涯研修事業の充実など、日歯の改革のために邁進していくことをお誓い申し上げます。

皆様のより一層のご支援とご協力をお願いし、組織のさらなる発展を祈念して新年のご挨拶といたします。

平成18年 元旦

謹 賀 新 年

昨年は本会の円滑な運営にご協力を賜りまして誠に有難うございました。
本年も何卒よろしくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます。

平成18年 元旦

社団法人 岡山県歯科医師会

会 長	小林 敏郎				
副 会 長	國遠 守	原 武史			
専務理事	酒井 昭則				
常務理事	齋藤 治典	藤井 龍平	黒住 正三	大嶋 敏秀	
理 事	名越 資幸	西田 宜可	渡里 浩明		
	平岩 弘	竹下 信義	小林 清司		
	江口 邦成	南 哲之介	西岡 宏樹		
監 事	飛田 領一	近常 良孝	相坂 俊太		



新年あけましておめでとうございます

年頭に当たり、会員の諸先生方、並びにご家族の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

岡山支部長 角 南 考 昭	御津支部長 江 口 邦 成	津山支部長 棕 代 龍 彦
倉敷支部長 高 田 泉	児島支部長 難 波 浩 夫	玉島支部長 宮 尾 亨
都窪支部長 小 坂 稔	玉野支部長 橋 本 健 一	瀬戸内支部長 太 田 叶 米
赤磐支部長 岸 田 脩 作	和気支部長 堀 重 善	吉備支部長 吉 井 剛
浅口支部長 雀 部 陽 一 郎	笠岡支部長 金 平 康 弘	小田支部長 川 上 純 生
井原支部長 鈴 木 勝 己	高梁支部長 大 塚 彰	新見支部長 飯 田 忠 男
勝・英支部長 福 山 勝 久	真庭支部長 宮 島 郁 夫	

厚生労働大臣表彰受賞

黒 住 和 彦 先生（岡山支部）

11月12日(土)新潟県新潟市で開催された第26回全国歯科保健大会において、黒住和彦先生が永年に亘る歯科保健事業功労者として厚生労働大臣表彰を受賞されました。

ご受賞を衷心よりお祝い申し上げ、先生の今後益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り致します。

平成17年度日本歯科医師会会長表彰受賞

高 畑 正 夫 先生（玉野支部）

11月12日(土)新潟県新潟市で開催された第26回全国歯科保健大会において、永年に亘る歯科保健事業の普及向上に貢献した功績により高畑正夫先生が受賞されました。

ご受賞を衷心よりお祝い申し上げ、先生の今後益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り致します。

平成17年度岡山県学校保健会表彰

御 供 寛 先生（岡山支部）

塚 脇 重 篤 先生（笠岡支部）

妹 尾 昌 美 先生（高梁支部）

<受賞者名簿順>

8月4日(木)高梁市にて開催された第52回岡山県学校保健研究大会において、学校歯科医として永年に亘るご功績に対し上記の先生方が岡山県学校保健会表彰を受賞されました。

この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げます。



中国地区歯科医師会連合会表彰

大塚 襄 先生（岡山支部） 市場 寛人 先生（岡山支部）
清水 利子 先生（赤磐支部）

<受賞者名簿順>

去る10月15日岡山市にて開催された第56回中国地区歯科医学大会記念式典において、歯科医療功労者として上記の方々が表彰されました。

この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げます。

平成17年度岡山県保健衛生功労者表彰

岡山県知事表彰

高田 秀雄 先生（笠岡支部） 奥 欽也 先生（津山支部）

岡山県保健福祉部長表彰

黒住 忠正 先生（岡山支部） 太田 隆温 先生（倉敷支部）
西 敏邦 先生（笠岡支部） 酒井 昭則 先生（笠岡支部）
内田 宏 先生（津山支部）

<受賞者名簿順>

11月1日(火)岡山市で開催された平成17年度岡山県保健衛生功労者表彰式において、永年に亘り公衆衛生事業に貢献されたご功績により上記の方々が表彰されました。

この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げますと共に、先生方のご健勝と今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

平成17年度岡山県医療功労者表彰

地域医療功労

吉永 慎一 先生（瀬戸内支部） 小若 清志 先生（都窪支部）

<受賞者名簿順>

9月6日(月)平成17年度岡山県医療功労者表彰式において、歯科関係では永年に亘るご功績とご苦勞に対し、上記の方々がそれぞれ受賞されました。

この度のご受賞を衷心よりお慶び申し上げますと共に先生方のご健勝と今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

岡山県歯科医師会会長選挙のお知らせ

選挙管理委員会

委員長 黒瀬 一 朗

明けましておめでとうございます。

会員各位、御家族皆様には、ご健勝で、佳い新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

3年に一度の会長選挙が今年2月26日(土)に実施されますので、選挙管理委員会はその準備を着々と整えております。これまで決定しましたことは「理事会」「代議員会」に御報告させて頂きましたが、その概要を会員の皆様方にお知らせ致します。

1. 会長選挙日について

- ・選挙投票日は「平成18年2月26日(日)投票時間は午前10時より午後6時までとします」

以上投票日が決定しましたので以下のような日程になります。

- ・選挙公示日は2月6日(月)となり、立候補の届出日は2月6日(月)より2月11日(土)までの6日間、本会事務局内選挙管理会で午前9時より午後5時まで受付を行います。
- ・選挙運動期間は2月12日(日)より2月25日(土)までです。

2. 投票区及び投票所について

投票区は岡山県下を4区に分けて投票区を設定します。

投票区並びに投票所

投票区	投票場所	対象支部	人数合計
1	岡山市 (県歯会館)	岡山支部366名、御津支部31名、瀬戸内支部24名、赤磐支部29名、和気支部28名	478名
2	津山市 (津山歯科医療センター)	津山支部69名、勝・英支部23名、真庭支部21名	113名
3	総社市 (吉備医師会館)	吉備支部42名、小田支部11名、井原支部22名、高梁支部20名、新見支部13名	108名
4	倉敷市 (倉敷歯科医師会館)	倉敷支部133名、児島支部47名、玉島支部37名、都窪支部49名、玉野支部37名、浅口支部23名、笠岡支部25名	351名
		総 合 計	1,050名

(人数は平成17年12月1日現在)

- ## 3. 立候補を希望される方は1月23日(月) (午前9時より午後5時) より必要書類をお渡ししますので本会事務局まで、本人または選挙事務長が御来会下さい。書類につき御説明致します。

4. 2月11日(土)午後5時で立候補受付は締切ります。

選挙管理会は直ちに委員会を開催して

候補者1名の場合は書類の審査後当選を決定し会長に報告、当選人に通知、会員にはできるだけ速やかにお知らせします。

候補者2名以上の場合は委員会は直ちに選挙事務に入り会長に報告、立候補者に通知し、会員に選挙を行う旨をできるだけ早くお知らせします。

5. 選挙が施行されることが決定しますと

- ① 有権者の方に「投票引換券」を送付しますので大切に保管されて、投票所に御持参下さい。

また、選挙公報も発行し、立候補者の略歴、抱負、主張等を掲載し、投票時の御注意、投票所の地図、付近の駐車場等も記載します。

- ② 各投票所の所在地の支部長先生には「選挙長」を、所属する支部長先生には「選挙委員」になって戴き、また「選挙立会人」を選出して戴いて選挙の公正を期します。

- ③ 選挙運動期間中2月12日(日)より2月25日(土)の間、各投票所で「候補者による立会演説会」を行いますので、有権者の方は是非とも御来会下さって、各候補者のお話しをお聞き戴き投票の参考にして戴きますようお願い致します。

また、個人演説会も開催します。各候補者より御案内が参ると思います。

- ④ 選挙人名簿の閲覧も2月6日(月)より10日(金)まで午前9時より午後5時まで本会事務局で行います。

- ⑤ 開票は選挙立会人立会のもと即日開票致します。決定は夜遅くなると思われませんが、できるだけ早く有権者にお知らせします。

6. 有権者（本会会員で平成18年2月5日(日)までに本会会員名簿に登録の方）は所属される支部で投票されることが原則ですが、やむを得ない事情で所属支部投票所に行かれることが不可能な方については、以下の投票方法がありますので御利用下さい。

- ① **不在者投票（期日前投票）** 2月19日(日)より25日(土)まで

本会事務局で午前10時より午後5時まで投票券（後日送付）御持参の上投票して下さい。

- ② **在宅投票** 疾病、負傷、出産、歩行困難等の方は郵送による投票ができます。

この場合2月16日(木)正午までに所属支部長先生にお申し出下さい。支部長先生には大変お世話様になり御多忙のところ恐縮でございますが、おまとめの上（書式は後日送付致します）至急選挙管理会宛在宅投票希望届を御送付下さいますようよろしくお願い致します。

選挙管理会で承認の上、希望者の方に直接必要書類を書留速達でお送りしますので投票方法をよくお読みの上、2月25日(土)午後5時まで必着にて御返送下さい。以後の到着は無効と致します。

- ③ **区域外投票** 都合により別の投票所を希望される場合は、投票日前日2月25日(土)正午までに氏名、希望投票所名を記してFAX（086-224-8561）で御一報下さるようお願い致します。この申請がない場合は区域外投票はできません。

以上今まで決定致しましたことを御報告致しましたが、私達選挙管理会はこの初めての会長選挙にあたって、選挙規則を遵守し公正な選挙を旨とし全力をあげて選挙事務を遂行し、無事成功裡に終わりますよう最大限の努力を致す覚悟でございます。私達の最も大切な会長を選ぶ選挙でございますので、当日2月26日は万障お繰り合わせの上是非共、各投票所にお出で戴き、一票を投じて戴きたいと心より念じております。また、不在者投票、在宅者投票、区域外投票もでございますので御利用戴き、高い投票率で会長選挙を盛り上げて戴きたいと思っております。全会員の皆様方の絶大な御協力、御鞭撻、御援助をよろしくお願い申し上げます。

会長選挙までの日程

平成18年2月26日施行

平成18年

1月23日	月	立候補必要書類お渡し開始（本会事務局で午前9時より午後5時まで）	
2月6日	月	公示	選挙人名簿の閲覧 2月6日より 10日まで 本会事務局 午前9時より 午後5時まで
		立候補届出受付開始 2月6日より2月11まで （本会事務局で 午前9時より 午後5時まで）	
7日	火		
8日	水		
9日	木		
10日	金		
11日	土	（祝日）立候補締切（午後5時まで）	
12日	日	選挙運動開始	
13日	月	（2月12日より24日まで各投票所において1回程度立会演説会を行います。 日時・場所は立候補者，投票区選挙長，選挙管理会で協議して決める）	
14日	火		
15日	水		
16日	木	在宅投票希望者申請締切 正午（支部長宛申込）	
17日	金		
18日	土	立候補の辞退（午後5時まで）	
19日	日		不在者 投票日 2月19日より 25日まで 7日間 本会事務局 午前10時より 午後5時まで
20日	月		
21日	火		
22日	水		
23日	木		
24日	金		
25日	土	選挙運動締切・区域外投票申請締切，正午（FAX086-224-8561）・在宅投票，午後5時まで必着	
26日	日	投票日（各投票所で午前10時より午後6時まで） 即日開票	

会長選挙に立候補希望の方に

選挙管理委員会

委員長 黒瀬 一 朗

1. 会長選挙に立候補される方は入会后引続いて2年以上経過した方に限ります。
2. 立候補に必要な書類は
 - ①お渡し期日 1月23日(月)より立候補〆切日2月11日(土)まで。
 - ②場所 本会事務局内選挙管理会で期間中午前9時より午後5時まで。
 - ③お渡しするとき選挙委員より書類について御説明しますので立候補者または責任者が御来会下さい。
 - ④必要書類
 - i) 立候補届出書
 - ii) 立候補趣意書
 - iii) 推薦者(選挙権を有する会員)10名以上
 - iv) 選挙責任者の選任届
推薦者の中の1名の方を選挙責任者(選挙事務長)として選任して下さい。
選挙責任者は開票時の開票立会人も兼ねます。
 - v) 立候補者の写真(選挙公報掲載用)
3. 立候補届
2月6日(月)より2月11日(土)まで6日間、受付時間は午前9時より午後5時まで、場所は本会事務局内選挙管理会。
4. 選挙運動
2月12日(日)より2月25日(土)まで14日間。選挙規則第17条, 18条, 20条を遵守して下さい。
5. 立候補の辞退
特別な理由により辞退するときは, 2月18日(土)午後5時までに選挙管理会へ辞退届を御提出下さい。それ以後は認められません。
6. 選挙投票日変更の場合は直ちにその旨通知致します。
7. 立会演説会の開催
候補者または選挙責任者と選挙管理会, 投票区選挙長等が協議して日時場所, 演説者等を決定する。各投票区において1回開催する。
8. 個人演説会の開催
個人演説会開催届出書を提出して下さい。開催回数は問いません。

9. 候補者が会員に配布する文書は事前に選挙管理会へ届け出て下さい。

10. 選挙公報について

選挙期間中に発行します。候補者は公報に掲載するため立候補届と同時に必要書類を選挙管理会へ提出して下さい。書類は立候補届出時にお渡しして説明します。

11. 選挙運動の制限及び禁止事項

候補者及びその運動をする方はあくまで歯科医師としての自覚のもとに紳士的に正々堂々と選挙運動を行って戴きたい。

特に第20条を遵守して戴きたい。

また、候補者が会員に配布する文書は事前に選挙管理会へ届出て下さい。

12. 選挙違反に対する罰則

選挙規則第21条を御参照下さい。

13. 開票立会人

選挙責任者は「開票立会人」となり、開票事務に立会う。

開票立会人は開票事務終了後、公正な開票事務であるか否か確認して終了後に署名捺印する。

14. 当選の決定

有効最多数を得た候補者が当選者となるが得票同数の場合は「くじ引」で決定する。

15. 候補者が定員を超えないとき

届出期限終了後、委員会を開催し、その候補者の届出に不備がないことを認めた時点で決定し、候補者に通知する。

16. 繰り上げ当選は認めておりません。

17. 当選の辞退

相当の理由がなければ辞退することはできません。また当選の通知を受けてより5日以内に申し出しなければ辞退はできません。

以上、立候補について概略御説明致しましたが、本会選挙規則を遵守して戴き公正な選挙運動をして戴くようお願い致します。

Open the 理寧会

平成17年度 第26回
平成17年11月10日(木)
18:30~22:00

1. 会長挨拶

マウスガードの作製には皆様大変なご苦勞でした。お蔭様で喜んでいただけたと思います。参加いただいた先生方並びに衛生士会、技工士会、材料商組合の方々にも感謝申し上げます。また、全国大会が迫っておりますのでよろしく御願いたします。

2. 報 告

〔各部委員会〕

- (1) 広報部編集委員会 11月1日(火)
- (2) 社会保険部検討委員会 11月5日(土)
- (3) 医療管理部小(学会準備委員会)委員会
11月9日(水)

〔本会関連の研修会・会議等〕

- (1) 学院増築工事建前 10月29日(土) (藤井常務)
- (2) 歯周病講座講師打合せ 10月29日(土)
(渡里理事)
- (3) 歯周病講座：医療管理と学術のコラボレーション
10月30日(日) (渡里理事)
- (4) 歯科助手講習会講師反省会 10月30日(日)
(渡里理事)
- (5) 吉備支部社保講習会 10月30日(日)
(西田理事)
- (6) 学院入試検討委員会 10月31日(月)
(藤井常務)

小論文についての打合せ

- (7) 第5回全国障害者スポーツ大会マウスガード
作製ボランティア 11月3日(木・祝)~6日(日)

(酒井専務) 準備が大変であった。

(南理事) 3日間関連団体も含めよく
まとまってできた。

学院推薦入試 11月5日(土)

三地区各当番県打合せ 11月10日(木)

〔関連団体との行事・会議等〕

- (1) 第27回学校歯科保健研修会(中国四国ブロック)
10月29日(土)~30日(日)
(平岩理事)中里委員長他学校歯科医2名参加
- (2) 岡山県院内感染対策支援会議 10月31日(月)
(藤井常務)
- (3) 岡山県歯科保健優良校表彰審査会
10月31日(月) (黒住常務, 平岩理事)
- (4) 平成17年度岡山県保健衛生功労者表彰式
11月1日(火) (小林会長)
- (5) 公益法人実務研修会 11月2日(水)
- (6) 中国地区歯科医師会親睦野球大会前夜祭
11月2日(水)
- (7) 中国地区歯科医師会親睦野球大会
11月3日(木・祝)
- (8) 地域保健関係職員等研修会(歯科保健研修)
11月10日(木)
講師 大村満晴先生

〔第69回全国学校歯科保健研究大会関連〕

- (1) 全国大会(司会)打合せ 11月9日(水)
(黒住常務)最終打合せ

〔その他〕

- (1) 岡山大学歯学部鳥井教授と面会 10月31日(月)
(小林会長)
- (2) 岡山県教育庁福利課と面会 11月1日(火)
- (3) マクロ建築設計等と打合せ(学院)
11月2日(水) (藤井常務)
- (4) 検死 11月4日(金), 8日(火) (江口理事)

3. 行事予定

29件

4. 協 議

〔各種依頼事項について〕

- (1) 児島歯科医師会より新年会の開催と出席依頼について

日時 平成18年 1 月14日(土) 18:30～

場所 倉敷シーサイドホテル

出席 原副会長

- (2) 玉野市歯科医師会より新年会の開催と臨席依頼について

日時 平成18年 1 月14日(土) 18:30～

場所 ダイヤモンド 瀬戸内マリンホテル

出席 國遠副会長, 西田理事

- (3) 御津支部より「いきいきライフフェスティバル」の開催と出席依頼について

日時 12月11日(日) 10:00～15:00

場所 岡山市北ふれあいセンター

出席 小林会長

- (4) 都窪歯科医師会より忘年会の開催と臨席依頼について

日時 12月10日(土) 19:30

場所 サン・ピーチOKAYAMA

出席 小林会長, 酒井専務

- (5) 平成17年度第1回岡山県産業保健推進センター運営協議会の開催と出席依頼について

日時 12月 8 日(木) 15:00～17:00

場所 岡山産業保健推進センター 会議室

出席 平岩理事

〔検討事項〕

- (1) 岡山県地域リハビリテーション推進事業岡山県支援センターより講演会及び市民公開講座の開催と後援（名義後援）依頼について

日時 平成18年 1 月29日(日) 9:20～12:00

場所 川崎医療福祉大学

後援承認

- (2) 本会・関連団体役員合同懇談会について
12月17日(土) 開催の懇談会の参加者並びに出

欠状況の確認

- (3) 医療管理部 耳より得得情報 第14弾について

渡里理事より提示の医療管理部会報付録について検討, 承認

5. 閉 会（原副会長）

今日の視点（平岩 弘）

第5回全国障害者スポーツ大会が11月3日から6日まで岡山県で開催された。岡山県歯科医師会では、社会貢献事業の一つとして、この大会に各県から参加されるバスケットボール選手の希望者に対し歯科医師会・歯科技工士会・歯科衛生士会の有志によるマウスガード作成ボランティア活動を行った。新聞、テレビ等にも大きく取り上げられコンタクトスポーツへのマウスガード普及啓発と共に社会への貢献に大きく寄与したものと考えられます。

ただ、新聞記事の中に常に二人三脚で公衆衛生活動を行っている歯科衛生士が歯科助手と記載されていた事は大変残念であった。学院の三年制移行・介護予防の中での歯科衛生士の役割を考えると歯科医師会としてもっと歯科衛生士の存在をアピールしなければならないのではないかと感じた。

平成17年度 第27回

平成17年11月25日(金)

19:30～22:30

1. 会長挨拶

全国学校歯科保健研究大会開催が無事終わることができました。ありがとうございました。他県の皆様からも大会の運営につきましてお褒めの言葉もたくさん戴きました。特に学院の生徒の機敏な行動等が高く評価されておりました。皆様ご苦労はたくさんあったと思いますが本年度の事業も何とか山を越すことができました。本年度も残

すところ3ヶ月あまりですが引き締めて行きたい
と思います。

2. 報 告

〔各部委員会〕

(1) 広報部編集委員会

11月11日(金), 15日(火), 22日(火), 24日(木)

(2) 学術部正・副委員長会 11月15日(火)

(小林理事)

(3) 医事処理小委員会 11月24日(木) (藤井常務)

〔本会関連の研修会・会議等〕

(1) マウスガード作製ボランティア感謝状贈呈式

11月10日(木)

(2) 都道府県歯科医師会地域保健・産業保健担当

理事連絡協議会 11月11日(金) (平岩理事)

(3) 学院推薦入試選考委員会 11月11日(金)

(藤井常務)

(4) 文化事業部会「大原美術館」 11月13日(日)

(大嶋常務) 31名参加

(5) 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会

11月15日(火) (酒井専務)

(6) 学院臨床実習医院事前協議会 11月22日(火)

(藤井常務) 54名出席

(7) 選挙管理委員会 11月22日(火)

(國遠副会長)

(8) 第6回歯ッピーフォーラム

11月23日(水・祝) (小林会長)

〔関連団体との行事、会議等〕

(1) 第55回全国学校保健研究大会

11月10日(木)～11日(金) (平岩理事)

(2) 第26回全国歯科保健大会 11月12日(土)

(平岩理事) 新潟県にて

(3) 岡山県医師会講演会 11月12日(土)

(小林会長)

(4) 第25回日本口腔インプラント学会中国・四国

支部学術大会 11月12日(土)～13日(日)

(小林会長, 竹下理事)

(5) 平成17年度日本歯科医療管理学会中国支部総 会・学術大会 11月19日(土)～20日(日)

(藤井常務, 渡里理事)

地区学会と同じ助村先生講演。医療事故・紛
争・訴訟。等

(6) 第9回日歯理事会 11月24日(木) (小林会長)

(7) 岡山社会保険事務局への出向 11月24日(木)

(黒住常務, 平岩理事)

16年度受診者の3割含む445人程度を予定。
事業所へ出向いての健診。24箇所申請。

〔第69回全国学校歯科保健研究大会関連〕

(1) 第69回全国学校歯科保健研究大会前日打合兼

懇親会 11月16日(水)

(2) 第69回全国学校歯科保健研究大会

11月17日(木)～18日(金)

〔その他〕

(1) 検死 11月12日(土)

(江口理事)

68歳, 女性。

(2) 学院と重藤組・マクロ建築設計と打合せ

11月16日(水) (藤井常務)

(3) 倉敷中央病院との面談 11月25日(金)

(小林会長)

3. 行事予定

38件

4. 協 議

〔各種依頼事項について〕

(1) 「歯科衛生士会事務所開設ならびに厚生労働 大臣表彰受賞」祝賀会の開催と臨席依頼につ いて

日時 12月18日(日) 16:00～18:00

場所 岡山エクセルホテル

出席 小林会長, 酒井専務, 黒住常務
西岡理事

(2) 青少年問題シンポジウム～青少年100人対100 人委員会～(平成17年度第2回「青少年問題 を考え、行動する100人委員会」)の開催案内

と出席依頼について

日時 平成18年1月28日(土) 13:00~16:00

場所 岡山県立美術館ホール

出席 國遠副会長

- (3) 平成17年度岡山大学歯学部教授会懇親会の開催と参加依頼について

日時 12月12日(月) 19:00

場所 ホテルグランヴィア岡山

出席 三役、藤井常務、平岩理事、小林理事

- (4) 診療報酬等支払運営委員会の開催と派遣依頼について

日時 平成18年1月26日(木) 14:00

場所 岡山県国保会館 4階 会議室

出席 原副会長

【検討事項】

- (1) 岡山県老人クラブ連合会より高齢者の健康づくり等に関する寄稿依頼について

平岩理事

- (2) ブランチプロジェクト事業について

- ① 余剰補助金の新たな事業への流用について
当初の計画案通り事業を行ってほしい。

- ② 「スタッフジャンパー」の貸出しについて

承認

- (3) 衆議院議員逢沢一郎政経セミナーの開催と出席依頼について

席案内について

連盟にて対応

日時 12月17日(土) 11:00

場所 岡山プラザホテル

4. 閉会(原副会長)

今日の視点(渡里浩明)

先日、現職役員のI氏とO氏が次期日歯会長選挙立候補を表明し予定者に名を連ねた。両氏とも医療経営基盤の安定と良質な医療の提供をめざし、O氏はさらに日本歯科医師会組織の機構改革を断行すると所信表明された。残念ながら現時点では言い古された総論に終始している。私は、社会保険診療報酬の適正な確保と受療率の向上を図ることが具体的な喫緊の課題と考えるのだが。

さらに、後日開催された九州・四国・中国三地区役員協議会において本県小林会長が「これからは従前に増して、日本歯科医学会と日歯及び連盟の三者が連携を緊密にして歯科医療の権益確保のため、EBMの確立を図り、行政と対峙していただきたい」旨、来賓の両氏に強く要望されたのが印象深い。予定では12月26日(月)から会員向けHPから候補者の政見(マニフェスト)が放映されるそうだが本県選挙人の先生方には十分に視聴されて厳正で冷徹なご判断をお願いしたい。

お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

	1・2・3日	8日(日)	9日(月・祝)	15日(日)	22日(日)	29日(日)
1月	×	×	×	×	×	×
2月	5日	11日(土・祝)	12日(日)	19日(日)	26日(日)	
	×	○	×	○	○	
		9:00~17:00		13:00~17:00	9:00~17:00	

○印 開館予定 ×印 閉館予定

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問い合わせ下さい。

Monthly Dental News Review (17)

11月10日(木) ▶厚労省が中医協に提案 『喫煙』を「病気」と位置づけ

医師による禁煙指導：保険対象に

喫煙の状況 (単位：%)

	総 数	男 性	女 性
現在習慣的に喫煙している者	27.7	46.8	11.3
過去習慣的に喫煙していた者	11.6	20.9	3.6
喫 煙 し な い 者	60.7	32.3	85.1

(平成15年「国民健康・栄養調査」)

喫煙によるコスト試算 (1999年度) (億円)

超過医療費		13,086	
直接喫煙	超過罹患による医療費	12,936	
	胎児に対する影響による医療費	4	
受動喫煙	超過罹患による医療費	146	
労働力損失		58,454	
喫煙関連疾患による労働力損失		58,360	
直接喫煙	超過罹患による入院	3,405	
	超過死亡	53,811	
	超過罹患による入院	49	
	超過死亡	1,095	
受動喫煙			
喫煙がもたらす火災による労働力損失		94	
たばこ火災	負傷による入院	4	
	死亡	90	
社会的損失金額合計		7兆1,540億円	

14日(月) ▶社会保険診療報酬支払基金 平成17年7月分

	歯 科 分		医療費に占める構成割合	
件 数	890万件	0.8%↓	13.1%	0.2%↓
金 額	845億7千円	3.2%↓	9.9%	0.2%↓

(対前年同月比)

▶厚労省 歯科診療所数 (平成17年8月)

67,083件 (前月比 59施設↑)

16日(水) ▶経済財政諮問会議 (議長・小泉純一郎首相) 医療制度で新方針

GDPに連動させた医療費の伸び率 管理制度の導入について事実上断念

17日(木) ▶国保中央会 国保医療費速報(平成17年7月診療分)

	市 町 村		組 合	
件 数	602万件	2.3%↑	45万件	3.1%↓
医療費	932億円	0.8%↓	63億円	5.3%↓

(対前年同月比)

18日(金) ▶厚労省 歯科医師数 95,197人(16年度末)

2年間で2,323人(2.5%↑)

21日(月) ▶日歯生涯研修セミナー(平成17年度)

DVD方式導入で過去最高 参加予定者含め 15,287人

▶厚労省 中原議員の指摘を認める 16年度医療経済実態調査の結果

歯科診療所の収支差額が「9.6%も増加した」と証明していた。

24日(木) ▶保団連「資格証明書」調査

国保滞納者は低い受診率

28日(月) ▶厚労省研究班 調査 喫煙超過医療費

歯周疾患で1,300億円増

30日(水) ▶厚労省 社会保障審議会医療保険部会(星野進保会長)

基本方針

「保険財政の状況・物価・賃金のマクロ経営指標の動向, 全国の医療機関の収支状況を踏まえて行うべき」

12月 1日(木) ▶政府・与党「医療改革協議会」 「医療制度改革大綱」の取りまとめ

・平成18年度診療報酬改定を「引き下げの方向で検討措置する」

・中医協の診療側・支払い側委員をそれぞれ1人削減

5日(月) ▶“皆保険”守る国民集会 患者負担増の改革反対決議

植松会長が制度の保持発展を強調

▶禁煙推進議員連合 たばこ価格等引き上げ決議

・10円/1本

・引き上げ税財減は医療関係など健康増進に向け施策に充当する

6日(火) ▶国保中央会・「介護費等の動向」

国保7月介護費 件数・費用共に増加傾向

9日(水) ▶文科省 平成17年「学校保険統計調査」

・「むし歯」がトップ

・12才児 永久歯の1人当たり 平均むし歯数 1.82本(1.9本↓対10年前)



回想

倉敷支部 稲垣 質 (84歳)



明けましておめでとうございます。

正月早々から古い話で恐縮です。「海征かば水漬く屍山征かば苔むす屍大君の辺にこそ死なめかへり見はせじ」の大合唱が終った途端、零距离射撃で砲身の中で破裂するから砲も兵隊も無茶苦茶です。飛び散った足から靴を脱がせて何千軒も歩いて穴があいた自分の靴をはきかえるという調子である。

彼等のやり方は日本の忍者と同じようなもので、戦車5～6台で日本の軍団の回りを機銃を撃ち乍らだんだん輪を小さくして行く。そうして日本語で「貴方方の義務は終わりました。銃を捨てて速やかに降伏しなさい」直ちに銃の山、軽機の山、重機の山ができる。それをU.S.A.のジープのトラックでラジオ、ミシンのお古と一緒に本国に持ち帰る車のライトを見ていると良く解る。一つも途切れない。彼等は銃剣は持たない、皆自動小銃だけ。属領の兵隊は少々小さい突撃銃を持っている。そして射撃が非常にうまい。電柱の碍子等を歩き乍ら撃ち碎いて行く。夏、川へ行水に連れて行ってくれる時の石鯰を日本刀で切ってくれます。上手に等分に切ってくれます。将校刀で切ると折れるので下士官刀で切ってくれます。ノモンハン事件の時の戦場整理に行った下士官が教えてくれました。上官に美術品として持っている人が数名いるそうです。それから状況の違う所へ仕事に行った時、道端の腰掛に座っている父子を見たらどうも日本人らしいので、聞いてみたら日本人でした。ノモンハンで捕虜を交換した時、日本兵の方が多かったそうです。それで連れて行かれて簡単な裁判にかけられ刑務所へ入れられたそうです。普通は一人なんぼで日本が金を払えば帰してくれるんだそうです。もう自分はこちらの土になる決心をしているから生まれも名前も聞いてくれるなど言うことで別れたそうです。ブロック建の家を与えられていたそうです。それから吉田正という歌手は私の上の棚に寝起きしていました。セメントの空袋を綺麗に切って持って帰ってやると喜んで作詞作曲していました。

戌年を迎えて憶う

玉島支部 渡辺 信平 (84歳)



明けましておめでとうございます。

十二支を7廻りして、8回目の戌年を迎えました。その間、戦前・戦中・戦後を経て参りました。戦前は置いて、戦中は昭和19年東歯専を繰上げ卒業、赤紙が来て岡山48部隊に二等兵として入隊し、寒風吹き荒ぶ練兵場で戦車特攻の訓練に、また弾薬壕掘りに使役に出て、体力の限界を知りました。幸に入隊前、海軍歯科軍医の採用試験を受けていたのが入隊後合格の通知があり海軍に転属し、猛訓練の後、呉空襲及び広島原爆直後の救護活動に出動、戦争の悲惨な状況を体験、生死問題につき考える因



になりました。

終戦復員して家業に専念する傍ら、円通寺（良寛修行の寺）在住の高僧のもとで参禅し、生死問題と取り組んで参りましたが、未だに解決していません。

昭和61年、岡山県良寛会が創立され、これを機会に良寛について勉強をはじめ、今日に至っております。

良寛の偈頌に「趙州に有^うかと問えば有と答え、無^むかと問えば無と答う。君に有かと問えば也^また答えず、無かと問えば也た答えず、不^{いぶかし}審、意^そは作^も麼^{さん}生、也た答えず」と云うのがあります。この偈は、円山応挙が描く5匹の犬の絵に、良寛が賛をしたものであります。犬に関する有名な公案に「僧、趙州に問う、狗^く子^すに還って仏性有りや也た無しや。州云く無」と言うのがあります。この公案は「趙州無字」の公案と呼ばれ、趙州録・無門関・従容録に出ています。良寛は、趙州和尚は仏性の有無について答えてくれたのに、絵の中の犬は何も答えてくれないと言っています。

私も良寛の詩偈の真意を生死と重ねて見究めることを余生の全課題として生きてゆきたいと思う今日この頃です。

新年雑感

瀬戸内支部 妹尾 弘暉（72歳）



新年明けましておめでとうございます。

昨年は改革に明け暮れた一年でしたがこれからも暫くは続くでしょう。

さて、それは脇に置いて、15年前ですが高校の同窓会で友人から“おい70才らが勝負やで”と声をかけられ、退職間近い彼からそのようなことを聞かされようとは一瞬立ちろいだものです。その時から楽しく豊かに健康でいようとのことだったのでしょう。新年ですがこの年齢になると否応なく老を意識させられます。市からシルバーカードが送られてきますし、ゴルフに行けば今年からは女性と同じ赤マークから打ってもよいですよと告げられます、思い遣りでしょうが礼は言うものの心の何処かで蟠りと逡巡を覚え素直になれないのです。これが課題でして、五官と煩惱に狭間がありこのギャップに終始悩まされることになります。

閑雲野鶴、鳥語花香、浅酌低唱、羽化登仙、「ヒトリシズカニ、シゼンヲアイシ、チビチビヤレバカラオケウタッテ、イイキブン」と読むのだそうです。また諸事に取り組み森羅万象一瞬の感動を忘れずにといわれますが、これは老いを論ず佛心だと思います。ですからこの蟠りこそが生きて行くための活性源になっているのかもしれませんが。五官と煩惱が合体した時が悟りで寿命なのです。70才からだといわれて10年なんとか無難に過ごせたことに感謝しつつ、狭間にあって立ち往生とは行かないまでも右往左往した瞬く間の10年でもありました。平均寿命が延びたことです。80才からが人生なのだと自身に言い聞かせている新年雑感です。



戌年を占う

岡山支部 和気 一郎（72歳）



当たるも八掛 当たらぬも八掛

今年の戌年を12年前（以後前回と言う）の戌年、更に24年前（以後前々回と言う）の戌年の主なる出来事を調べて予想してみました。

政治は乱か？ 前々回の戌年には、田中・中曽根と言われた中曽根内閣が、そして、前回の戌年には、細川－羽田－村山の3内閣が誕生しました。

天候では、7月が要注意のようです。

前回の戌年の7月には、四国九州地方の水不足、前々回には、四国九州地方が豪雨となりました。また最近、航空機のトラブルが多発しています。前回の戌年には、名古屋で中華航空機、前々回の戌年には、日航機羽田沖事故がおきているので、今年の戌年に旅行されることは、要注意のようです。その他、主な出来事として、前回の戌年の平成6年には、ノーベル文学賞に大江健三郎氏、自衛隊ゴアへ、ゼネコン汚職、イチローの二千本安打。

前々回の戌年の昭和57年には、ホテルニュージャパン火災、三越事件（偽のエジプト黄金秘宝）、フォークランド紛争、山の事故多発（マッターホルン、チョゴリマ峰、アンナプルナ、エベレスト）、以上のような多種多様なことが起きております。

今年の戌年は、事件、事故、災難の少ない、穏やかな、良い年でありますよう、お祈り致します。

猫被り（ねこかぶり）

玉野支部 岡本 全允（60歳）



新年明けましておめでとうございます。

「年男、年女、新年の抱負」ということで、原稿の依頼が突然にまいりました。

そういえば私も5回目の戌年、還暦を迎えることになりました。抱負といっても特別に考えることもありませんが、岡大入局、その後開業した当時のことを思い出して、初心を忘れずに日々を過ごしたいと思います。

また、高島易断によれば、九紫火星の私には「進取の好機を見ても猫を被って本性を隠し、過去の故障箇所を復旧させたり、下積みの努力をしながら運気の挽回を図る年」とありました。そういえば昨年秋頃、血圧上昇ということで近医のお世話になり、体重と飲酒の減量に励む年となりましたが、私の性格上、猫被りの一年を過ごせるかどうか心配な一年となりそうです。

本年も宜しく願いいたします。



年男雑感

児島支部 須藤 洋一（60歳）



あけましておめでとうございます。

気がつけば還暦……一昨年亡くなった父の30年前の還暦を思い出し改めて時の過ぎる早さに驚かされています。そうして無限に与えられていると思っていた時間は限られた貴重なものということにやっと気がついた今日この頃です。

毎年年末に届く歯科医師会会員手帳の満年齢早見表をながめてみると、ありがたいことに人生100年と設定されていて0～32, 33～66, 67～100の3列になっています。しかし人生90年とすると0～30, 31～60, 61～90, こちらのコースでは近々最終欄に突入ですが……。それはともかくこの早見表は今自分のおかれている時間場所がどこなのか？いやおう無しに認識させられてしまいます。近いのか、すでに仲間入りしているのかのいずれにしろ最終欄を意識せざるをえません。中年欄の長い期間、仕事、日常の生活を楽しませてもらった事に感謝し、最終欄では迷惑をかけないように、そうして少しは恩返しができたらと願っています。

新年の抱負

岡山支部 恵谷 潤三（48歳）



4回目の干支が回ってきました。

あまり実感が湧いてこないのですが、この原稿を書きながら過去を振り返ってみると、2回目の年男のときは、人生の大きな転機でした。大学を卒業し、やっと国家試験に合格しすごく明るい未来を夢みていました。その後何年間は国家試験に遅れる夢を見ていました。おそらくかなりプレッシャーを感じていたのでしょう。

今自分の状況を見ても4月から、2人の男の子は高校3年と中学3年になろうとしております。私は18歳で大学進学のため神奈川県に移り住んでから、一度も親と同居したこともなく、現在にいたっております。そのことを思うと現在も人生の転機かもしれません。

今は、家族との時間を大切にしたいと思っております。

仕事に関しては、後どれくらい続けられるか判りませんが、少しでも引き出しを広くして、よく整理して、来院される患者さんに応えていきたいと思っております。もう少し欲を言えば「趣味の時間がもっと増えたらな」とも思っております。



年初にあたって

高梁支部 小野 雅俊（48歳）



新年明けましておめでとうございます。早いものでとうとう4回目の年男となりました。卒業した頃の頃は、将来の理想を友と語り合い、診療にスポーツに遊びにと精力的に飛び回っておりました。ところが30代の頃より前日の酒がなかなか抜けなくなり、徐々にベルトの穴の数が増えていき、40代を迎え体力、食欲などの衰えを自覚し、厄年に怖れおののき、今や成人病予防のため山歩きを始め、愛犬との散歩を日課にすべく頑張っております。そのうち好きな酒も節制し、ネオン街にも出動せず、子供や孫の成長に一喜一憂していくのでしょう。

しかし、まだまだ診療面でもプライベート面でも若者に負けない“元気なおやじ”でありたいものです。

また、年令と共に今まで何不自由なく働かせていただいた事に感謝して、いろいろな意味で人様のために御恩返しをしようといった気持ちで会の仕事や大学の講師の仕事などに奮闘している今日この頃です。

ああ！！しかし、次の5回目は還暦です。もう考えたくありません（涙）。

『鼻…その哲学的－考察』

倉敷支部 藤原 匡人（48歳）



我が家には、2匹の犬がいる。古来より、『窮鼠、猫を噛む』の諺があるが、我が家では、『トイプードル、シェパードの鼻を噛む』のである。生来、犬は縄張り意識が強く、拙宅では、居間のソファがトイプードルの陣地となっている。そこに、不用意にも、大きな鼻が近づこうものなら、一撃が下される。ところである。この鼻を噛まれたシェパード、全くもって怒らない。何故か…、駄犬のなせる業との風評を背に、ついに私は真理と逢着する。これは、老子の説く『無為自然』の境地ではなかろうか。積極的であるよりは、消極的であろうとする。強者であるよりは、弱者であろうとする。そこには私意や作為の介入する余地はない。黒く、ぬーっと伸びた鼻を横目に、こんな生き方もあるのかな…暫し、時間が止まった。老子の生きた春秋戦国の世と既成概念が崩壊しつつある現代、思えば同じ時代のような気がする。天命を知るには、まだまだ時間がかかりそうである。



前を向いていきます

岡山支部 大倉 晶子 (36歳)



明けましておめでとうございます。

今年は3回目の年女となりました。

2回目の年女を迎えた時は、まだ学生で、歯科医師になるという漠然とした期待と不安を感じつつも、とりあえず、目先の恋愛やテニスにうつつを抜き、日々を気楽に過ごしていました。お料理が得意な私。特に子どもが好きというわけでもない。「将来はいい奥さんになって、優雅にお遊びテニスをして、陽光がさんさんと差し込むリビングでくつろぎながら、午後のひと時、ティータイムを楽しむの。素敵〜！」

そして12年後。私はなぜか小児歯科医になっていて、開業まで…。テニスは相変わらず体育会系、陽のあたるリビングでティータイムを楽しむ時間もなく、得意料理は手抜き料理。「肩こり腰痛」で整体に通い、「アンチエイジング」と呪文のように唱えながらエステに通う。なんだか夢に思い描いていた生活とは、ずいぶんかけ離れているような…。

でも。

泣いても笑っても、人生は一度きり！これからも、前を向いて歩いていきます。

つながり

児島支部 森山高志 (36歳)



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いします。

平成15年12月に開業し、3年目に突入しました。この場をお借りして、患者さん、スタッフのみんな、関係者の方々そして妻に改めて御礼申し上げます。「石の上にも3年」といいますが、いよいよ真価が問われる年となりました。さて、どうしたものか？

私には1日違いで焼酎バーを新規開店した弟がいます。たまに近況報告をし合います。「調子はどう？最近店に芸能人やミュージシャンのお客さんが来てくれるようになって、みんなが店を盛り上げようってことで、今度店主催のライブをやることになったんよ」「そりゃすごい！こっちもみんなのおかげで順調にきてるよ」ってな具合です。お互い希望と不安を抱えての開業でしたから、こんな話を聞くと本当にうれしいものです。同時に羨ましいという思いも。業種は違っても彼は確実に彼のファンを増やしていつているようです。私もいつか患者さんからそんなプレゼントをもらえるときが来るのかな？

私のファン、スタッフのファン、わが医院のファンそしてファン同士が繋がってみんなが幸せになれるそんな医院になれるように…。

第69回全国学校歯科保健研究大会

主 題 「変革に向けての学校歯科保健の飛躍」

— 生きる力の育成……自ら学び、自ら考え、そして実践へ —

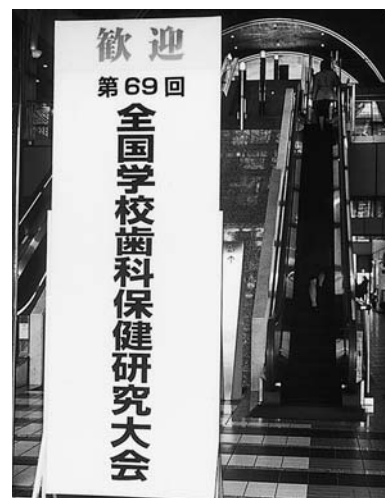
期 日 平成17年11月17日(木)～18日(金)

会 場 岡山シンフォニーホール



全国の学校歯科医並びに養護教諭、保健主事、学校歯科保健関係者が一堂に会し、学校歯科保健の向上並びに研究を目的として毎年各地で開催される全国大会がここ岡山県で開催されました。予てより日本学校歯科医会よりの要請もあり過去69年の歴史で岡山県で初めての開催ということもあり、県歯執行部を中心に大会実行委員会を組

織し、文部科学省、日本学校歯科医会、日本学校保健会、岡山県教育委員会、岡山県、岡山市などの全面的な協力を戴き、11月17日(木)、18日(金)の両日岡山シンフォニーホールを中心に、県歯会館、岡山県総合福祉会館などで開催されました。大会は延べ2,000名に及ぶ参加者が会場を埋め、「生きる力」を育む学校歯科保健の全国の学校の活動発表に熱心に耳を傾けていました。



プログラム1日目

1. 開会式・表彰式

- (1) 開会
- (2) 挨拶

文部科学大臣

小坂 憲次（代読）

近年、虫歯の罹患率は減少傾向にありますが、歯肉炎の増加や咀嚼など口腔機能の未発達指摘されております。これらの課題の対策として栄養の偏りのない食生活や望ましい生活習慣の形成を促すことが大変重要となります。このため、文部科学省では、さまざまな施策と取り組みを推進しております。

本大会におきまして、主題の下、日頃の実践を踏まえた研究協議が行われることは、誠に時宜にかなったものであり、実り多き大会となりますよう、心から期待しております。

日本学校歯科医会会長 松島 悌二

学校歯科保健活動はこれまでも、健康づくりの視点から教育活動の一環としての「生きる力」の育成に貢献すべく、幼児・児童生徒が健康的な生活を営むための生活習慣の確立へ向

けての研究を行い、日本学校歯科医師会といたしましても各種資料の作成と普及活動を展開してまいりました。

本日のこの大会の成果が、幼児・児童・生徒の「生きる力をはぐくむ」活動に活かされ、また「健康日本21」の実現に寄与できれば幸いです。

岡山県歯科医師会会長 小林 敏郎

第69回全国学校歯科保健研究大会を開催するにあたり、主催者として感謝申し上げますと共に心より歓迎申し上げます。

主題「変革に向けての学校歯科保健の飛躍」のとおり学校歯科保健の将来への飛躍を願い、この大会が意義深いものになりますよう、また皆様のご期待に沿えるよう努力していきたいと思っております。



(3) 祝辞

厚生労働大臣 川崎 二郎（代読）

学齢期において健康教育を通じて歯や口の健康づくりを自ら気づき、主体的に身につけ、行動することは重要であり、8020実現のために学校歯科保健は大きな力となっております。

この大会が今後の学校歯科保健の一層の推進に大きく寄与するものと信じ、ご活躍いただきたいと思っております。

日本歯科医師会会長 井堂 孝純

本大会が、日本歯科医師会の提唱している「8020運動」ならびに厚生労働省の「健康日本21」と連携しながら学校歯科保健を通じて、児童生徒の歯科保健の発展と普及向上のため寄与することを願っています。

岡山県知事 石井 正弘（代読）

近年の急激な社会環境、生活様式の変化は、次代を担う子ども達の心身の健康状態にも様々な影響を与えており、学齢期における健康づくりも、それに合わせて変革していく必要があります。このような状況の中で、各ライフステージの中でも特に重要と思われる学齢期の口腔の健康づくりに真摯に取り組まれている関係者が一堂に会し、研究大会を開催されますことは大変意義深いことであり、この大会の成果に大きな期待をしています。

岡山市長 高谷 茂男（代読）

歯の健康は、生涯にわたり心身ともに健康であるための基盤の1つとして、子どものころから歯の健康を確保することは、大変重要になってきます。本大会の主題に沿い、子どもが自らの生活を振り返り、自ら課題を把握し主体的な健康づくりを図るうえに大変意義深く、大きな期待を寄せています。今後の学校歯科保健がよりいっそう推進されますことを望んでおります。

(4) 表彰式

全日本学校歯科保健優良校表彰

- ・最優秀賞受賞校（文部科学大臣賞） － 9 校
- ・特別賞受賞校（日本歯科医師会会長賞）－10校
- ・優良校 －72校

(5) 次期開催地 千葉県紹介

(6) 閉会



2. 記念講演

「地域社会を育む福祉の風土」

江草 安彦

3. シンポジウム 座長：明海大学歯学部長 安井 利一

第1部 基調講演

テーマ「生きる力を育む学校での歯・口の健康づくり」

文部科学省スポーツ・青少年局体育官 戸田 芳雄

第2部 シンポジウム

①学校（小児）健康教育の視点から「生きる力」を考える

東京大学大学院教育学研究科教授 衛藤 隆

②学校経営の立場から「生きる力」を考える

東京都中央区立泰明小学校校長 木暮 義弘

③県行政の立場から健康教育と「生きる力」を考える

島根県教育委員会指導主事 荊尾 玲子

④学校現場での障害を持つ子どもたちへの健康づくりと「生きる力」を考える

東京都立八王子養護学校養護教諭 中川四始子

シンポジウムは「生きる力」の育成－自ら学び、自ら考え、そして実践へ－との意義に近づくために二部構成として歯・口の健康づくりに対する取り組みについてそれぞれの立場からの発表を戴きました。第一部はこのたび発刊された『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』の編集



を担当された文部科学省スポーツ・青少年局戸田芳雄体育官より基調講演を戴きました。第二部は4名のシンポジストに学校教育、学校経営、県行政、学校現場でのそれぞれの立場からお話をいただき、解説と問題点の提示をお願いしました。

4. 懇話会

プログラム 2 日目

1. 実践発表

「自ら気づき、つかみ、いかす子供を目指して」

岡山県苫田郡鏡野町立上齋原小学校教諭 瀬島 和子

岡山県苫田郡鏡野町立上齋原小学校教諭 石田 弘紀

鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所 澤田 弘一

岡山県の県北県境にある上齋原小学校においての取り組みを発表していただきました。上齋原地区においては過疎化、高齢化が進み児童が減少してきており、全校児童数50名とさみしい状況であるが、明るく活動的で自然に対するやさしさを多く持ち合わせている子どもたちの歯科保健活動の状況を2名の教諭の立場と、学校歯科医の立場から発表を戴きました。



2. 領域別研究協議会

- ① 幼稚園、保育所（園）部会
- ② 小学校部会
- ③ 中学校部会
- ④ 高等学校部会

これら4部会に分かれて座長が決められ基調講演があり、その後、それぞれの部会担当者による発表が行われました。内容につきましては、大会要項をご参照ください。

3. 領域別研究協議会報告

領域別研究協議会での座長により、各部会での問題点、発表内容、質問等がありました。

4. 全体協議会

- 1) 前回処置報告 静岡県歯科医師会専務理事 飯島 理
- 2) 議事

- (1号議案) 文部科学省の「『生きる力』をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」の活用を望む
岡山県歯科医師会
- (2号議案) 学校健康診断時の幼児・児童生徒の個人情報保護について
千葉県歯科医師会
- (3号議案) 児童生徒等の歯・口腔の外傷防止について
名古屋市学校歯科医会

5. 大会宣言文朗読

岡山県歯科医師会副会長 原 武史

6. 閉会式

岡山県歯科医師会 原 武史副会長による閉会の挨拶で幕を閉じました。

(広報部 東原慶和)

輝いて！ おがやま大会 2005 第5回全国障害者スポーツ大会

マウスガード作製ボランティア

11月3日(木)から6日(日)の4日間、第5回全国障害者スポーツ大会におけるマウスガード作製ボランティアが、倉敷市の水島緑地福田公園において、岡山県歯科医師会、岡山県歯科衛生士会、岡山県歯科技工士会、中国歯科用品商協同組合岡山県支部の共催で実施された。4日間で延べ115名の関係者のご協力をいただき、全国から参加された、知的障害者バスケットボール選手のうち、希望者75名に無事マウスガードを作製・装着することができた。



本事業は平成17年に岡山県で開催される国体、障害者スポーツ大会に当たり、岡山県の推奨するボランティア精神に賛同し、我々の職能で何かできないかとの考えから始まり、16年末より種々調査、検討の結果、知的障害者バスケットボール選手に対するマウスガードの無償作製との結論に至った。国体等全国大会におけるこのような事業は初めての試みであり、行政各機関との調整など非常に困難な事業であったが、関係者のご理解、ご協力の下、何とかその任を果たすことができたものと思う。

本事業がマウスガードの啓蒙、普及に少しでも役立てばと願うとともに、ランチ活動を含めた社会還元活動が少しずつでも実を結ぶことを切に希望するものである。

終わりにあたり、今回の事業に対し全面的なご支援を頂いた、岡山県保健福祉部障害福祉課、倉敷市国体推進室、平日の診療日にもかかわらずご協力いただいた会員の皆様には、紙面をお借りして心より厚く御礼申し上げます。



(南 哲之介)

はじめの一步

浅口支部 横山美千代

会報にこの募集を見たとき、衛生士は「勉強になるから行こう!」と言い、私も同じ思いで手を上げました。ボランティア活動に何かを得ようというのも恥ずかしいのですが、私達にとってははじめの一步でした。さて当日の屋外テントには折り畳み椅子、長テーブル、エンジン、薄暗い蛍光灯、タンクの水等が用意されておりました。前日の印象採得のプロフェッショナル達、夜を徹して作業された技工のエキスパート達のおかげで、私達の調整装着は非常に楽でした。知的障害のある方々は礼儀正しい明るいスポーツマンで、マウスガードは今回の試合では使用できないと説明するのですが、“対岡山戦には使用したら”などとジョークが言えるくらいでした。

今回私達は屋外診療とは、知的障害とは、他院の経験のある先生や衛生士の患者対応とは、マウスガードとは等々、非常に多くのことを体験し、正直なところ、提供したことより学んだことが多かったと感謝しております。

今後ここでまいた一粒の種が育ち、マウスガードがすべてのコンタクトスポーツでルーチンに使用されることを願っています。

また、この日のために何日も準備に奔走された県歯の先生方に御礼申し上げます。

ボランティア活動に参加して

さだかね歯科医院 スタッフ 片山 美鈴

私たちは、第2日目のマウスガード印象の部でこのボランティアに参加しました。

当日は、初めてお会いする先生方、大勢の衛生士さんたち、やり慣れない場所での作業と緊張感があり、そして何よりも障害者の方々の印象をとるということで、うまくできるだろうかと不安でいっぱいでした。

いよいよ選手の方たちが来ました。思っていたこととは裏腹に、選手の皆さんから気軽に声を掛けられ、とにかく明るい表情・態度で驚きました。また先生方も気持ちを落ち着かせようと話しかけながら、手早く口腔内をチェックし、印象をとり、私達もスムーズにアシスタントすることができました。はじめて使う印象材で、戸惑いながらもしだいに慣れてきて、とても楽に作業することができました。

このボランティアを通して、何よりも良かった事は、他の医院に勤められている衛生士さんと仲良くなれた事と、同じ作業でも先生によってやり方が違うので、声の掛け方、印象のとり方、嘔吐した人への対応など、とても勉強になりました。

ボランティアに参加した事で、全国から訪れる人々を温かく迎え、さまざまな人と笑顔でふれあい、交流の輪を広げることにより、理解を深め、思いやりの心を育むとともに、歯科医院のスタッフとして、もう一度、一から勉強しなおしたいという気持ちになりました。

参加させていただき、少しでも選手の皆様の支援を行うことができ、大変良かったと実感しています。

ボランティア活動に参加して

岡山県歯科衛生士会 会長 松尾 敬子

マウスガード作製ボランティア活動に、本会も会員15名を派遣し4日にわたり歯科医師会の先生方や技工士会の皆様とともに、このような形での社会貢献ができましたことを大変うれしく思っております。

マウスガード装着前後の口腔内清掃の必要性や方法などを短時間ではございましたが、障害を持ちながらもスポーツで心身を鍛え続けておられる選手の皆さまにお伝えすることができました。また、マウスガードを長く使っていただき、スポーツで持てる力を安全にそして、十分に発揮していただきたいと心から祈っております。

最後になりましたが、このような企画をされました岡山県歯科医師会に心から敬意を表しますとともに、本会にこのような機会を与えてくださいましたことに対し御礼を申し上げます。

＊以下に参加会員の渡辺早苗さんの感想をご紹介します。

自分の力が少しでもお役に立てたらという気持ちで参加させていただきました。障害を持ちながらも積極的にスポーツに取り組んでおられる姿に接し、大きな力をもらいました。このボランティアに参加することにより、自分の仕事を通じて社会に貢献できる喜びを感じることができました。

貴重な体験をありがとうございました。

マウスガードボランティアについて

岡山県歯科技工士会 会長 木下 英志

障害者スポーツ大会のマウスガードボランティアについて、岡山県歯科医師会の理事の先生より、岡山県歯科技工士会に対して、「障害者スポーツ大会の参加者にマウスガードの提供をしようと思いますが御協力をお願いできませんか」とのお話をいただきました。以前から「マウスガードを一般のコンタクトスポーツをされている方に広げていきたい」という思いがあったものですから、すぐにお引き受けすることにしました。

さて、お引き受けはしたものの、いったい何人分のマウスガードを作製すればいいのか。暗中模索の中、東京都技の渡辺先生に7月よりハード面・ソフト面において相談にのっていただき、ボランティアの体制を整えていきました。

11月4日・5日の両日、指導で来ていただいた渡辺先生とボランティア会員さんのチームワークとたいへんな働きで、75人分のマウスガードを時間内に作製することができました。

これもすべて会員の方々のお陰で、無事終了することができました。この場をお借りして、このような場を提供していただいた岡山県歯科医師会の先生方に感謝を申し上げます。

ご協力いただいた皆様

〈岡山県歯科医師会〉

◎横山美千代	芦田 裕子	角川 優子	◎竹谷 雅之	◎竹谷 裕之
◎藤澤 達郎	野上千英子	小野 智美	菱川智恵子	◎中原 浩一
◎西岡 宏樹	我沢寿美子	国定 けい	矢部 美幸	内藤 陽子
山本真由美	◎竹下 信義	平岡みさと	橋本 有美	◎熊代 進
◎鳥越 靖明	◎中村 睦夫	◎藤波貴美子	◎松三 洋夫	住友希美枝
◎定兼 正明	田中 秀子	芦田 敬子	井上 喜江	片山 美鈴
梶原 麻未	◎毛利 行雄	◎池田 泰章	◎近藤 修六	◎清水 裕雄
◎西田 明弘	◎大上 宏己	◎小林 清司	◎黒住 正三	真賀絵巳子
◎藤井 龍平	◎齋藤 治典	◎大嶋 敏秀	洲脇 和美	◎江口 邦成
◎平岩 弘	◎渡里 浩明	木村 裕	太田 貴子	佐藤 初美
◎名越 資幸	◎西田 宜可	◎南 哲之介	岩田 亮子	岡田 美佳

〈岡山県歯科技工士会〉

木下 英志	平石 雄一	上山 知己	嶋池 豊	横田 公生
岡本 人巳	渡辺 昌滋	八尾 勝久	徳橋 克俊	永原 正寛
河合 彰	三谷 久夫	高原 永治		

〈岡山県歯科衛生士会〉

松尾 敬子	多田 孝子	大守利恵子	小西 豊美	小林 洋子
狩山 美香	渡辺 早苗	中上 昭子	曾我 恵子	岩本 佳子
花岡 愛弓	三宅 洋子	堀口 洋子	原田 宏子	中務美弥子

〈中国歯科用品商協同組合岡山県支部〉

(◎は本会会員 順不同, 敬称略)



4 月より共済給付事業が 「**県歯新共済**」として再スタートします！

昨年10月の第145回代議員会及び第115回定時総会において厚生部共済事業部会規則および共済給付事業施行細則改定案が承認されました。それにより、現行の特別積立基金事業、特別入院給付事業、および融資斡旋事業は平成18年3月で終了します。そして、本年4月より「**県歯新共済**」として新たに給付事業が始まります。その大概は次の通りです。

（共済年会費）

年額 30,000円。

満75歳に達した会員（30年以上加入）、年額 10,000円。

但し、満75歳に達した会員で、加入期間が30年に満たない場合は次の通りとする。

25年以上30年未満 年額 13,000円

20年以上25年未満 年額 15,000円

15年以上20年未満 年額 20,000円

15年未満 年額 25,000円

満80歳に達した会員、年会費免除

（給付）

1. 入院共済金

会員が傷病のため入院（医療施設に限る）した場合、給付する。

満75歳未満の会員、1日 15,000円

満75歳以上の会員、1日 8,000円

但し、年間120日を限度とし、入院初日より5日間は免責期間とする。また、入院共済金の給付は、5年間で通算して360日を限度とする。（入院共済金の給付は、5年単位で継続されます。）

2. 慶祝・死亡共済金

（1）慶祝共済金

満70歳に達した場合、20万円を給付する。

（2）死亡共済金

満70歳未満で死亡した場合、20万円を給付する。但し、満50歳未満で死亡した場合、弔慰金として80万円を加算する。

3. 火災、災害見舞金

全焼全壊、半焼半壊及び床上浸水などの火災・災害に対して給付する。給付額は、20万円までとする。

平成18年4月より施行される厚生部共済事業部会規則および「共済給付事業・県歯新共済」施行細則の内容は、岡歯会報11月号（Vol.706, 2005）付録、「第145回定時代議員会並びに第115回定時総会報告」に掲載されています。給付事業内容の詳細は「共済給付事業・県歯新共済」施行細則をご熟読下さい。

特別積立基金事業積立金が返還されます！

現行特別積立基金事業が、平成18年3月で終了するのに伴い、入会している会員の皆様に平等積立金を返還いたします。返還は、昭和63年3月31日以前に入会された方は17万円に入部年数に応じた還付金を含む額、そして、昭和63年4月以降に入会された方は17万円となります。

返還は、平成18年3月中に小切手（線引き）を書留郵便で郵送の予定です。また、返還される金額は、返還金から小切手代および書留郵送料を差し引いた額となりますので、ご了承下さい。

積立金の返還に関してご不明な点がありましたら、事務局高本、吉田にお問い合わせ下さい。

学	術	部
---	---	---

ご 案 内 感染予防講習会

上記講習会は3年間の開催予定で、本年度が最後となります。そこで今回は津山支部において開催させて頂くこととなりました。下記の要領で行いますので、多数の先生方のご参加をお願い致します。

記

日 時 平成18年2月4日(土) 19:00～20:30

場 所 津山歯科医師会館

演 題 「一般的な歯科診療における院内感染対策」

演 者 明貝文夫講師（歯周病科）

岡山大学医学部・歯学部附属病院 インфекションコントロールドクター

お 願 い

平成16・17年度生涯研修カードの提出について

平成18年3月末で上記の生涯研修の区切りがやってきます。平成17年10月号でも既報の通り、岡山県においては、生涯研修への参加率は全国で28位ですが、取得単位数においては43位と最下位に近い数字となっております。

特に自主申告の点数が低く、今回、岡山県歯科医師会宛の封筒を用意しておりますので、生涯研修ライブラリーの申し込み用紙とともに、付録をご参照の上、郵送して頂きたいと存じます。よろしくお願い致します。

ご 案 内

平成17年度実施生涯研修ライブラリー実費(有料) 頒布について

生涯研修ライブラリーは例年、岡山県歯科医師会、各支部には送付されてきますが、個人で申し込む場合には有料となっております。

今回、個人で実費（有料）頒布を希望される場合には、別添用紙にご記入頂き岡山県歯科医師会宛の封筒に入れて郵送して頂きたいと存じます。また、平成17年度生涯研修ライブラリーのタイトルは下記で、本年度は平成13年度から16年度までのライブラリーの頒布も行われますのでご利用下さい。

頒布金額は

DVD 約 1,000円（8 タイトル全部） ＋ 送料

CD-ROM 約 200円（1 タイトルにつき）＋送料

VHS 約 1,500円（1 タイトルにつき）＋送料

で、個人宛に郵送されますので受取人払いとなります。

平成17年度生涯研修ライブラリー制作一覧

制作No.	タ イ ト ル 名	講師名	所 属	研修コード
0501	インプラント治療の事前診断と術後経過	武田孝之	東京都会員	060300
0502	日常臨床に取り入れる「う蝕予防」	景山正登	東京都会員	090101
0503	エムドゲインを使った歯周再生治療	船越栄次	福岡県会員	050103
0504	歯周病患者の機能回復後のメンテナンス	申 基喆	明海大学歯学部歯周病学講座教授	050105
0505	歯科インプラントに必要な基礎知識 －解剖学と画像診断学－	佐藤 巖	日本歯科大学歯学部解剖学第一講座教授	040100
		代居 敬	日本歯科大学歯学部歯科放射線学教授	
0506	学ばい心、育つ心 －2次元マッピング法を応用した学校歯科保健活動－	中村譲治	福岡県会員	010702
0507	初期治療の重要性	中川種昭	慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教授	041600
0508	歯科医学の最先端、再生医療の可能性	上田 実	名古屋大学大学院医学研究科頭頸部・感覚器外科学講座教授	100300

芸術の秋 特別企画

講演会『大原美術館～その歴史と所蔵品』

美観地区の木々も色づき始めた11月13日(日)、大原美術館で講演会を開催いたしましたところ、32名の方のご参加を頂きありがとうございました。世界に誇る美術館の一端に触れる素敵な午後でした。

〈集合・受付〉13:00～13:30

工芸館中庭『モネの睡蓮の池』前に集合

〈講演会〉13:30～14:30

大嶋常務のごあいさつの後、虫明副館長よりスケジュール説明、守田 均主任学芸員よりみっちりレクチャー。特に事業家大原孫三郎と児島虎次郎の友情を超えた関係、虎次郎の心情の変化に関するくだりに感動。質疑応答のあと中庭で集合写真撮影。

〈有隣荘〉14:30～15:00

本日のメインと言える『倉敷の迎賓館』大原家別邸有隣荘の特別公開。守田様より、その建設の経緯や贅を尽くした造りについて、また特別展示していただいた現代アートについて解説をしていただく。有隣荘の2階より紅葉始めの倉敷川畔、美術館本館の景色は秀逸。

〈ギャラリーツアー〉15:00～

本館に戻り、所蔵品展示品の説明を受けた後、解散。2階のソファールに落ち着き大作に見入る方々、棟方志功を求めて工芸館に行かれる方々、また本日のレクチャーを反芻すべく、児島虎次郎記念館に足を伸ばされる方々と、閉館時間まで各自堪能され終了。

短い時間でしたが、地元の誇る大原美術館を再認識いただけたかと思います。特筆すべきは守田主任

学芸員の泉の如く湧き出る解説でしょうか。これを機に様々なテーマで、色々な引き出しからお話を聞ける企画を継続していけたらと考えております。

(小見山 信)



ご案内

※申し込みは付録のFAXシートにてお願いします。

『郷土文化に触れる会』 備前焼体験

備前焼土ひねりの会を今年も開催いたします。備前焼作家の陶房にお伺いして、先生の指導の下作品を作ります。作品は、後日作家の先生と同じ窯で焼き上げお送りいたします。またご希望の皆様には、一般には見る機会の少ない窯詰め・窯焼き・窯だしの体験もしていただけます。お問い合わせは担当松本（0869-63-2323）まで。

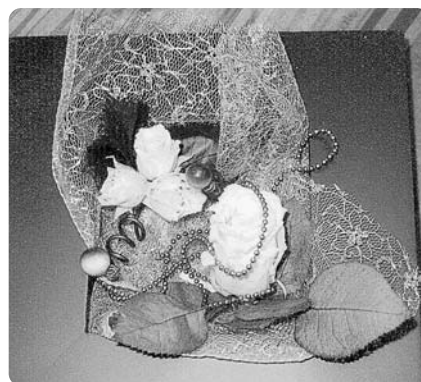
- 日 時 平成18年1月29日(日) 午前10時～ 約2時間
- 場 所 『延原窯』 備前市伊部18 ☎0869-63-2130
- 参加費 会員 4,000円 家族・従業員 5,000円（乳幼児はご遠慮ください）
- 定 員 先着25名
（1回13名まで。参加多数の場合は午後1時～の2回に分けて開催。参加の時間は後日連絡します。）
- 締切り 1月21日(土)

※参加申し込みの方には、後日地図等詳しいご案内をお送りいたします。

フラワーデザイン教室

日本フラワーデザイナー協会 三好マリエ先生を講師にお迎えして、壁掛け等を作製します。生花をソフト加工したドライフラワー（プリザーブドフラワー）を使っの作品作りです。男性も奮ってご参加ください。お問合せは担当 南 哲之介（0869-72-3388）まで。

- 日 時 平成18年2月19日(日) 午後2時～4時
- 場 所 岡山県歯科医師会館 3階 第3会議室
- 定 員 先着20名
- 参加費 会員 3,000円 その他 4,000円（材料費込み）
- 対 象 会員・家族・従業員
- 準備物 ハサミ（雑用）・ピンセット（当日ご持参ください）



＊ファミリースキー



スノーシューハイキング

毎年好評のファミリースキーバスを今年も運行します。行き帰りは楽々の大型貸し切りバスで、大山では終日ソリ、スキー、スノーボードをお楽しみください。車中では豪華賞品の当たるビンゴゲーム大会も実施します。あわせて今年は、流行のスノーシュー（西洋カンジキ）ハイキングを実施します。冬にだけ見せる白銀の美しい風景、木立の中に動物の足跡を発見してみませんか？今まで目にしたことがない自然がきっとそこにあると思います。お問い合わせは、スキー北山（086-284-2348）スノーシュー一定兼（086-564-6187）まで。どちらもご家族、従業員お誘い合せの上ご参加下さい。

□日 時 平成18年2月5日(日)

7:00 岡山県歯科医師会館発（6:40分集合）

9:30 大山スキー場着

16:00 〃 発

18:30 岡山県歯科医師会館着

※県北からの参加の方は、久世インターに停車いたします。

□締切り 平成18年1月28日(土)



ファミリースキー

＊場 所 大山スキー場 鳥取県大山町 TEL0859-52-2502

終日自由行動にてお楽しみください。

＊参加費 会員3,000円 家族・従業員4,000円（小学生以下3,000円）

※食事、リフト代等は各自ご負担願います。

スノーシューハイキング

👤日 程 大山スキー場 ^{バス} 桧水高原 (10:00) —— 《ガイドと共にスノーシューハイキング》 —— 昼食 —— 大山登山口 (13:00) ^{バス} ホテル

（終了後はスキー等、バス出発までご自由にお過ごしください。ホテルにて入浴、休憩もできます。）

👤昼 食 途中、雪の中でおにぎりとお肉汁をご用意します。

👤ホテル 「大山レークホテル」 鳥取県西伯郡大山町 TEL0859-52-3333

👤参加費 会員5,000円 家族・従業員6,000円

（スノーシューレンタル料・昼食込み。ホテルの入浴料は各自負担）

👤定 員 先着20名（行程の関係上、小学校高学年以上でお願いします）

👤服 装 防寒着（スキーウェア等）・長靴等雪の入りにくい靴

※参加申し込みの方に詳しいご案内をお送りします。

平成17年度 日本歯科医療管理学会中国支部学術大会 参 加 報 告

去る平成17年11月20日(日)、広島県歯会館に於いて標記学術大会が「今、歯科医療に求められるもの」をメインテーマにして開催され、特別講演と一般口演が行われたので概要を報告します。

『特別講演』

「最近の歯科医療トラブルの実態とその対応 ― 歯科医師に求められる医療倫理とは ―」

日本歯科医師会歯科医療安全対策委員会委員長 助村大作先生

まず、冒頭で医療事故に対する取り組みで重要なのは起きてからのリスクマネジメントより、現在は起こさないためのセイフティーマネジメントの考え方であると前置きして講演を始められた。

「歯科医事紛争の現状と動向」

キーワード

歯科医の能力不足と倫理性の欠如、歯科の訴訟件数は全体の5位
明日は我が身

最近は特に歯科医の能力や倫理性が厳しく問われ、国民は我々を直接監視する状況になってきている。このような中で、歯科医事紛争の現状と動向は非常に厳しく深刻な状態であると言わざるを得ない。具体的には、歯科相談はここ半年だけでも500件近くあり、全体の4分の1を占める。一方、医療事故に伴う医療訴訟は社会的状況の変化や国民の権利意識の高まり等により、増加の一途をたどり、その件数は内科、外科、産婦人科、形成外科に次いで、常に歯科は5位、年間70～80件と10年で2.4倍に増加。しかし、これは氷山の一角であり、裁判にまで至らない深刻な医事紛争の実数は訴訟の6倍、年間で20%増加し、500件近くなり、1日1件以上。さらに、紛争の元となるような医療事故の実数となれば、訴訟件数の30倍の年間2000件以上、1日6件の発生頻度が推測される。また、某調査機関によれば、「麻酔事故」「誤飲事故」「薬の副作用事故」等、全国で年間5～6例の歯科治療時の死亡事故発生が報告されている。

医療事故・医事紛争は『他人事ではない』『明日は我が身』『油断大敵』なのである。

「なぜ、歯科の医事紛争が多くかつ増加しているのか」

キーワード

歯科の特異性、インフォームドコンセントの不足あるいは欠如
カルテへの記載不備

裁判官は原因として以下の様な歯科の特異性を指摘する。1) 精密さ等独特の治療特性。2) 患者の主観的満足感で治療結果の評価が左右される。3) 復元、再生が困難。4) 医科ほど緊急性が無い。5) 治療方法の選択範囲が広い。6) 外貌への影響が大きい。7) 歯科医療情報の氾濫や偏向したマスコミ報道。等である。

よって、裁判官は歯科治療では医科以上にインフォームドコンセントが大事であるという心証をもっている。そのため、争点の傾向として、最近ではインフォームドコンセントが問われるケースが多く、治療結果が良好でも治療目的や方針の説明・同意・確認が無く、カルテにも記載されていない場合には敗訴になる例が生じている。

その後、先生は最近の歯科医事紛争及び訴訟の内、高額な賠償金を伴った敗訴事例について原因・対処法等の考察をまじえて詳細に解説された。詳細については割愛しますが、「麻痺」「誤飲による死亡」「投薬での死亡」「感染性心内膜炎」「インプラント」「顎関節症」等の事例に於いて共通しているのは、1) 事前の問診不足。2) インフォームドコンセントの不足。3) 処置前のチェック不足。4) 応急処置の対応ミス。5) カルテ記載不備。等が敗訴の原因となっている。

「日常臨床での対策方法」

キーワード

インフォームドコンセントの内容をカルテに必ず記載
後医による前医批判が70%引き金、カルテ改ざんは必ず敗訴

◎患者に対して

- 1) 説明して確認・同意を取る。
- 2) 考える時間を与え、質問はないか尋ねる。
- 3) スタッフにもう一度説明させる。
- 4) カルテに、説明し（言ったかどうか）患者にOKをもらった（理解したかどうか）と必ず記載しておくこと。

◎ 歯科医として

- 1) 歯科医学・医術に関する研鑽を怠らず、医療水準の向上に努める。
- 2) 総ての治療に細心の注意を払い油断は禁物。
- 3) 万が一の時の適切な応急処置等の訓練・研修やマニュアル作成及び救急処置常備薬品・器械器具設備等の整備・管理の徹底。

- 4) 医療人としてのモラルと倫理観の確立。
- 5) 前医の批判は絶対にしないこと。(紛争の引き金の70%)
- 6) カルテの改ざんは絶対にしないこと。(必ず敗訴する。誤記は＝, 追記は日付を記入)

「単なるクレームから医事紛争に発展しないために」

キーワード

とにかく患者の話を真摯に聞いてあげる

◎ 患者に対して

- 1) 反発しない。
- 2) まず真摯な態度でしっかり聞く。
- 3) 時間が無い場合には、別に時間をつくり、時間を区切って聞く。
- 4) 弁解がましいことを言わない。
- 5) 良く聞いた上で説明する。少しのことであれば謝る。
- 6) カルテを見せると好印象。しかし、渡してはだめ、コピーを取る事。

最後に、助村先生は今日お集まりの先生方には釈迦に説法と前置きされて下記の言葉で2時間に亘る講演を締めくくられた。

「患者も一人の人間です。普段からの人間関係を円滑にするためにも、人の話を聞く時には、まずは手を止めて、相手の目を見て、すぐ反論せず、相槌を打ちながら、話を促し、相手の気持ちを要約して復唱するなど、真剣に聞いていますよという態度を表すことが大切です。初期の対応を間違えなければ、ほとんどの場合は紛争に発展することなく解決するでしょう。」

県歯会員の先生方に倫理性を説くのは失礼でおこがましいかもしれませんが、しかし、現実に関今現在も全国で約180人の歯科医が紛争中です。当たり前だからこそ、「油断大敵」なのです。

(渡里浩明)

『一般口演』

今回も臨床関係、衛生士関連、口腔保健関連、IT関連、アンケート調査等、多岐に亘って発表がなされたので特に印象に残ったものや関心の深かったものを報告します。

1. 臨床関係

「歯科領域における漢方薬について」(島根県歯会)

妊婦や重篤な基礎疾患を有する患者など一般西洋薬で対処しにくい場合でも漢方製剤が功を奏することがあるという報告でした。すべての患者に漢方製剤が有効とは限らないが、特別講演でも「薬の副作用事故」による死亡事例もありこれから増加する医事紛争防止策の1つとしての可能性を感じた。

2. アンケート調査報告

「歯科医師会未入会者対策に関する報告－アンケート調査をもとに－」（山口県歯会）

未入会者にとって、最大のネックは高額な入会金である。そしてこれがクリアできれば未入会者の70%は入会を再考するとしている。かつてのように入会が開業の必要条件でなくなった現在まだ未入会の比率が低い今から入会金の額や支払い方法の再考、入会の具体的なメリットを十分な資料を用いて説明することが重要かつ効果的であろう。

「かかりつけ歯科に求められるもの－良い歯科医院からイメージされる言葉より－」（広島県歯会）

歯科医療機関に受診中の患者を対象にどのような歯科医院を良いと感じているかを言葉で記入した結果、性別・年齢に関係なく上位を占めたのは親切・丁寧、説明・アフターケアであった。逆に設備がよい、治療回数が少ない、高くない・適正価格は順位が低かった。

また性別・年齢で変動が大きいのは清潔、痛くない、信用・安心・評判であった。

これらの評価は一般の人または受診を中断、転医した患者を対象としたアンケートとは多少異なる結果になっている。しかし上位のイメージは患者満足度のコアとなるものであり、かかりつけ歯科として求められるものである。

「岡山県歯科医師会会員を対象とした『ヒヤリ・ハット事例の収集に関するアンケート調査』の分析・考察について」（岡山県歯会）

（詳細は本会報に別掲）



3. 歯科衛生士関連

「手洗い実習におけるハンドスタンプ寒天培地の応用－学生の手洗いに対する意識変化と理解度について－」（岡山歯科衛生専門学校）

両手をイソジンスクラブで手洗い、洗浄後、ペーパータオルで手指を拭き乾燥させる。次に右手のみユニフォーム手拭き、頭髮かきあげをさせた2群に分け、それぞれ右手掌を培地にスタンプさせ培養した。対照として手洗い乾燥直後の左手掌を培地にスタンプさせた。発現した細菌コロニー数はトレースした手形にコロニーをプロットして算出した。さらに手洗いの前後で意識変化のアンケート調査も実施した。

結果：ユニホーム手拭群で発現したコロニー数 14.0 ± 14.6 個

（対照： 4.8 ± 6.8 個）

頭髮かきあげ群で発現したコロニー数 49.8 ± 66.7 個

（対照： 6.8 ± 7.6 個）

アンケート結果：細菌汚染に対して手洗いの重要性を理解し認識変化を強めていた。

以上からハンドスタンプ寒天培地の応用は、学生が身の回りの細菌汚染の実態を視覚的に確認する事が出来、手洗いに対する意識を高めるために有効な方法であり、臨床にも活用されることを期待する。

4. IT関連

「費用対効果の高いIT活用の模索」(鳥根県歯会)

歯学用語のパソコン入力を簡単に行える無料の仮名漢字変換辞書(ことぶき歯学辞書)やCTの3D画像を共有することができる無料ソフト(DICOM Viewer)の紹介がなされた。いずれも利便性は高いが、日常の診療の中で必ずしも多くの開業医にとって役に立つとは言い難い印象を受けた。

「岡山県都窪歯科医師会のIT化の試み-PC, IT機器の活用, 診療・病診連携を見据えて-」(都窪歯科医師会)

会員全員に無料配布したソフトの紹介がなされた。患者管理, 薬剤情報提供書, 処方箋, 診療情報提供書等が簡単に作成できるソフトであり, 日常診療ですぐに使える非常に利便性の高いものであった。さらに有病高齢者が増加する昨今, 地元医師会との診療・病診連携についても展開が検討されており, 同歯科医師会のIT活用への取り組みが楽しみである。



「Web技術を応用した歯科紹介状システムの構想」(広大歯学部口腔保健学科)

コンピューターネットワークを利用した歯科紹介状システムであり, 文字のデータだけでなく写真や模型をデータ化して添付することが大切である。しかし, インターネットの脆弱性に注意を払い, 暗号化したデータのやり取りが必要であると強調された。

また, 機器のトラブル等によって失われるデジタルデータだけでなく, 紙のデータの必要性についても述べられた。

(正副委員長会)

〈おわりに〉

11月20日(日)に広島県歯科医師会館にて行われた日本歯科医療管理学会中国支部役員会(前日)・総会・学術大会に出席してきました。この学会は日本歯科医学会に属する通常の各講座別のものとは異なり, 歯科大学・大学歯学部, 歯科医師会の医療管理部門, 歯科衛生士会, 歯科技工士会, 歯科衛生士学校, 各研究グループおよび関連業者と連携をとりながら, 歯科医療管理学の発展に努めることを目的とします。

内容的には, IT関連, 個人情報, ヒヤリ・ハット・医事処理, 歯周病におけるクリニカルパス, 衛生士会関連, 技工士会関連, 衛生士学校等々, 多岐に亘っている。したがって, 情報交換の場として, 会員の皆様と共に「学び, 議論し」また発表していただけるように, 更なる環境整備を早急に整える必要があろうし, 他方, 多数の個人会員のご入会をお願いし, 会員の増強を計らなければなりません。ご理解ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

(藤井龍平)

「岡山県歯科医師会会員を対象とした『ヒヤリ・ハット事例の収集に関するアンケート調査』の分析・考察について」のご報告

—平成17年度日本歯科医療管理学会中国支部学術大会 一般口演発表より抜粋—

会員各位におかれましては、17年6月20日付で医療管理部、学術部、調査事業部共同で行いました標記アンケートにご協力いただき厚く感謝申し上げます。集計結果の概要がまとまりましたのでご報告いたします。

「回答率および回答者の年齢分布」

回答率は16.6%であり、回答者の年齢分布は本会全体の年齢分布に類似していた。

よって各年齢層の会員の皆様にご協力いただけたものと推測される。

「ヒヤリ・ハットの発生状況と教訓・回避方法の調査結果」

1. 過去に経験したことがあるヒヤリ・ハット事例（複数回答可）を問う

「回答結果」

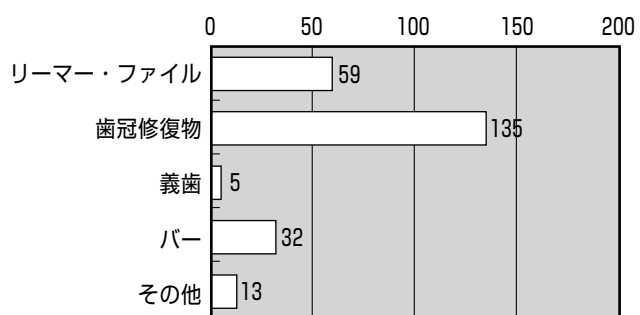
- ・誤飲・誤嚥させそうになった（誤飲・誤嚥と省略、以下同じ） (139件)
- ・機器の誤動作、操作ミスによる事故が起こりそうになった（機器誤動作） (46件)
- ・異所部位を治療しそうになった（異所部位） (45件)
- ・薬剤を処方・使用する際、事故が起こりそうになった（薬剤） (45件)
- ・その他 (20件)

◎「誤飲・誤嚥」が圧倒的に多く、他に比べて3倍以上あり、「機器誤動作」、「異所部位」、「薬剤」がほぼ同数でした。

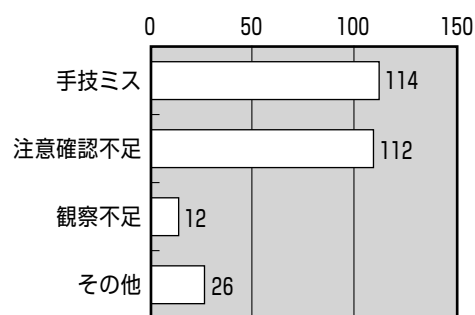
2. 最も経験数が多かった誤飲・誤嚥事例の集計結果

「誤飲・誤嚥させそうになった事例」

—集計結果—



誤飲・誤嚥させそうになった物 (件)



原因 (件)

◎「歯冠修復物」が最も多く半数以上を占めている。次いで「リーマー・ファイル」がその半分弱、その後「バー」「その他」「義歯」。「その他」には抜去歯牙やスクリーピンなどがあった。

◎その原因は、「手技ミス」と「注意確認不足」がそのほとんどでした。

「記述のあった代表的な事例」

- ◇ リーマー・ファイルが手指からすべり口腔内に落ち、誤飲させそうになった。
- ◇ インレー、クラウン等歯冠修復物を試適・調整時に口腔内に落とし、誤飲させそうになった。
- ◇ タービン使用時に、装着不備やチャックの緩みによりバーが外れ、誤飲させそうになった。

「記述のあった教訓、回避方法の代表的な例」

◇ リーマー・ファイルに関して

- ・ ラバーダムの装着を心掛けるなど、細心の注意を払う。
- ・ リーマーホルダーを活用する。
- ・ リーマーを挿入して手を放す場合は、はずれないことを確認する。
- ・ ファイル試適のデンタル撮影は、X線室内でファイルを試適して撮影する。

◇ 歯冠修復物に関して

- ・ 補綴物を取りはずす際に、必ず指を添えるなど細心の注意を払う。
- ・ 撤去時、患歯側に顔を傾けるようにして、落ちても気道に入らないようにする。
- ・ 試適前に患者に急にはずれることがあることを伝え、意識しておいてもらう。
- ・ 操作時には手袋を外す、または滑り止めのついているピンセット等を用いる。
- ・ 事前に模型上で充分コンタクトチェックする。
- ・ 座位にするなど患者の体位に気をつける。
- ・ バキュームチップをできるだけ近づけ、吸わせる。
- ・ 補綴物に引っ掛ける「ノブ」を付ける。

◇ バーに関して

- ・ バーの破折を想定したバキューム配置に注意する。
- ・ バーのセット後、把持できているか、使用前に引張って確認する。
- ・ チャックの点検を充分に行うこと。

以上、「誤飲・誤嚥関連の事例」だけでなく、「機器の誤動作、操作ミスによる事例」、「異所部位を治療しそうになった事例」、「薬剤を処方・使用する際、事故が起こりそうになった事例」、「その他の事例」についてもご回答を戴き、参考になる教訓・回避方法等もご記入いただきました。これらの詳細につきましては、後日、調査事業部よりご報告いただく予定であります。

(医療管理運営委員会副委員長 谷 俊彦)

岡山支部

第184回学術臨床放談会のご案内

岡山市歯科医師会では、愛知学院大学歯学部教授千田 彰先生、東京都杉並区開業田村仁志先生お二人をお招きし、下記の通り講習会を企画しましたのでご案内申し上げます。レーザー治療を臨床で使いこなす患者様・術者双方に満足が得られる使用法をその基礎から応用、そして様々なケースで役立て活かすかをご紹介します。レーザーをこれから取り入れようと考えられている先生方にとっても現在ご使用の先生方にとっても、ためになる情報が盛りだくさんの内容となっています。初春の日曜日、限られた時間ではありますが、有意義な講演会になるものと思います。お忙しいとは存じますが、万障お繰り合わせの上是非ご参加くださいますようお願いいたします。

岡山市歯科医師会研修部

開催日 平成18年 1 月22日(日)
 時 間 10:00～16:00
 会 場 岡山県歯科医師会館 5階大ホール
 テーマ 「患者さんから喜ばれるレーザー治療の基礎と実践」
 講 師 千田 彰先生(愛知学院大学歯学部教授)
 田村仁志先生(東京都杉並区開業)
 対 象 歯科医師、歯科衛生士、歯科助手その他
 後 援 岡山県歯科医師会

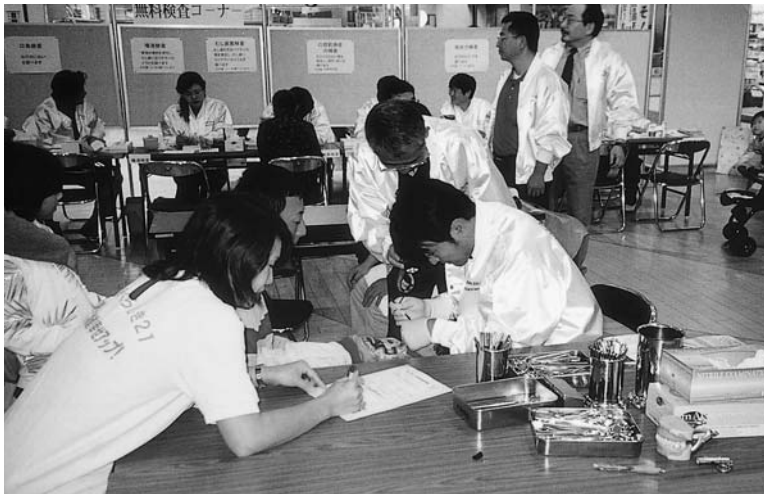
児島支部

ブランチプロジェクト 第2回 歯ッピータウン in 児島

平成17年11月6日(日)に『歯ッピータウン in 児島』が天満屋ハッピータウン児島店セントラルコートにて開催されました。これは『お口の健康フェア』として11月8日の「いい歯の日」に因み児島歯科医師会主催で県歯のブランチプロジェクトの一環として行っているもので、昨年に引き続き今回で2回目となります。

第1回からの「お口の健診と相談」「口臭測定、唾液検査、口





目的としたものです。

昨年の教訓を踏まえて、前日の準備もスムーズ？に、いよいよ本番当日！昨年の第1回の時には、初めてのことばかりで我々もお客さん（ショッピングセンターの中でのフェアなので）もなんとなくごちなかったり、お客さんが遠巻きにこちらを眺めていたりしていましたが、今回は1歳児対象のイベントが計画されていたため、午前10時のスタートと同時にこのイベントを目指して多数の親子連れが来場されました。大変うれしい思いがしました。小雨のばらつく中ではありましたが、前回を上回る約800人の来場者があり、無料グッズも途中でなくなってしまうかも！と心配するほどでした。

今回重要に感じたことが2つありました。1つ目は、お口の健康フェアという大きな目的の中で核になるイベントを設定するということです。これにより相乗効果が生まれ、より盛り上がるようです。2つ目は、関係各所と連携していくことの大切さです。堅苦しい歯科医師ばかりの集団ではどうしても敷居が高くなりがちですが、歯科衛生士会の方々、保健所の方々、愛育委員会の方々のご協力により、花のある、柔らかな雰囲気が加わったのは大きかったと思います。地域医療に携わっている我々は地域の方々と一生を通して付き合っていくわけですから、こうしたフェアを大切にし、ますますの継続、発展に力を注がなければならないと思います。

最後になりましたが、このフェアの開催に際し、様々な準備に奔走された難波会長をはじめとする実行委員会の先生方、各委員会の先生方、岡山県歯科衛生士会の方々、倉敷市保健所保健課の方々、愛育委員会の方々本当にご苦労様でした。

（森山高志）



玉野支部

本年度第2回ランチプロジェクト開催報告

本年度第2回ランチ・プロジェクトが『お口の健康フェア』と題して平成17年11月13日(日)午前10時から午後4時まで「メルカ（天満屋ハッピータウン）1Fセントラルコート」で開催されました。今回も「歯・口の健康づくり」を推進し、市民へのサービス・啓発活動を図りました。イベント会場では1) 歯の健康相談・歯科検診 2) 各種測定 3) 歯科用品展示 4) 図画ポスター展が設けられ、会員と歯科衛生士が対応にあたりました。

1) 歯の健康相談・歯科検診

説明模型、口腔内カメラ、パンフレット、歯ならび、入れ歯

2) 各種測定

口臭測定、咬合圧測定、位相差顕微鏡、唾液緩衝能

3) 歯科用品展示

電動ブラシ、歯磨剤など

4) 図画ポスター展

橋本健一玉野支部会長の挨拶ではじまり、図画ポスター展優秀者への表彰が行われ、一人ずつ表彰状と商品が橋本会長から手渡されました。

今回は会場が「メルカ（天満屋ハッピータウン）1Fセントラルコート」ということもあり、前回以上に大盛況でした。特にファミリー層が多く、子供たちは測定装置に興味津々で、検査結果に一喜一憂していました。

展示ポスターは100点が並べられ、自分の作品と記念撮影をする光景が見られました。

昨年、今年と3回の開催で、それぞれ会場が異なり、来場者の年齢、家族構成などが違うことから、

今後のランチ・プロジェクト開催について検討を要することと思われます。

開催にあたり、ポスター展示、検査器具の準備に携わった担当の先生、公衆衛生委員会の先生方、お疲れ様でした。

(木下 俊一)



赤磐支部

支部旅行



平成17年11月12日(土)～13日(日)絶好の秋晴れのもと、丹後半島方面への赤磐支部旅行が行われました。1日目は、貸し切りバスで城下町の出石町を散策、余部鉄橋を見学して城崎温泉外湯めぐりを楽しんだ後、当日の宿、日和山温泉の「ホテル金波楼」に到着。去る11月6日に解禁となった松葉ガニ（地元の津居山港で水揚げされた高級ブランドだそうです）

のフルコースを心ゆくまで堪能しました。まるまる1匹のゆでガニ、カニの刺身、カニスキ、焼きガニと続き、腹一杯になりました。カニのコースの場合、皆無口になりがちですが話も弾み、日頃の苦労話や趣味の話題等絶え間なく続き深夜まで語り合いました。

2日目は日本三景の一つ「天の橋立」、朝の連続テレビ小説で有名になった「伊根の舟屋」を遊覧船で見学し、家族やスタッフ等へお土産をどっさり買い込んで丹後を後にしました。

また、車中では日頃の疲れを癒そうと睡眠に専念の方、医院経営の悩みを相談する方、国際情勢を分析して日本外交の行方を語る方等思い思いに有意義な時間を過ごすことができました。最後になりましたが、今回の楽しい旅行を企画、運営してくださいました幹事の岡本公宜先生に深甚の感謝と御礼を申し上げます。

(モニター 内藤克己)

関連学校だより

平成18年度 笠岡歯科技工専門学校
臨床研修コース募集要項

主 旨	本コースは現代歯科医学における知識・技術の向上に資するものである。
募集人員	若干名
出願期間	平成18年2月15日(水)～平成18年3月15日(水)
	受付時間 9時から17時まで(日曜、祝日は除く)
問合せ先	笠岡歯科技工専門学校(〒714-0081 笠岡市笠岡5628-22 ☎0865-62-3549)

「習い事三昧!!」

赤磐支部 川 合 智 二

我が家の三人の子供たちが、習い事に通い始めた頃より私の習い意欲がどんどん調子に乗り始め英会話・ギター・ブルースハープ・ピアノ・ドラムいろいろなものに手を出しました。特に楽器は昔から興味があったのですが、ドレミすら分からない上に音痴。致命的な欠点を持ち合わせていたために、この領域に足を踏み入れることはなかったのです。ここにきて、なぜか子供たちがピアノやドラムを弾いているのを目の前で見てみると、どうしても始めてみたくなり自ら本を買いあさったり、教えてもらったりと日々練習に励む毎日。これがホントに面白い。なかなか時間が取れないため夜中に独りで練習を始めると、家族に“うるさい!!さあ寝よ寝よ”!!と冷たい仕打ち?を受ける始末。そんなことはおかまになしに下の娘(4歳)を観客に、本人はミュージシャンの気分!まさに気分爽快!。ときには長渕剛になり、時にはサザンに……いやあ無料でコンサートが聴ける我が家族は実に幸せ者です。その代わり一曲演奏し終わるのにかなりの時間を要する事と、タイトルを聞くまで原曲がほとんどわからないという問題はいまだ解決されておられません。12月には家族みんなでファミリーコンサートに参加、短い簡単な曲ですが、子供たちと妻でそれぞれの楽器を合わせるために長男(6歳)をリーダーとして、練習するのはとても楽しくこれからもずっと続けていけたらいいなと思っています。

家族で始めた英会話も挫折する者が出る中、なんとか継続しまさにカメのようなスピードではありませんが、楽しみながら習っています。しかし今までなにを勉強していたのだろうかあんなに何年も学校で英語を習っておきながら、ほとんど会話ができないなんて……勉強になるとつまらないんですね。英語を通じて遊び、会話する。勉強じゃなくて遊びの一部で使う英語はとても楽しいんです。子供たちはまだ英語を勉強だとは思っていないようです。だから楽しんで遊んでいます。



自分の知らないことを知る・学ぶってほんと楽しいですね。これからもどんどん習い事していきたいと思っています。

ただ、どの習い事も8歳の長女が先頭にいるということが、父親としての立場に非常に影響を及ぼしているようなないような……。

次回は赤松由崇先生(岡山支部)をご紹介します。

※こちら編集室※

福江 「年の始めの……」

正機 目がまだ外の世界に向いていない子供の頃に迎えたお正月は心も弾み、今から訪れる一年に大きな夢を馳せ、期待で胸が一杯になったものです。

ところが去年は師走も押し迫った12月17日、小泉首相の強権力、良く云えば流りのリーダーシップにより史上最大の医療費マイナス改訂が発表されました。

内容は診療単価のみでなく、診療体制まで踏み込んだ締め付けもありそうな情勢で、各界の反対の声が上がる中、受診抑制を図ってまでも医療費を押さえ込む姿勢に背筋も凍る鬼気を感じるところです。

このことは衆議院議員総選挙の結果に因るのは明白ですが、小泉劇場のパフォーマンスに踊らされた日歯執行部にはその心中いかばかりかと察せざるを得ないと同時に、会員サイドでは腹立たしさを覚える心境なのです。

元はと言えば、前役員の不祥事が端緒となりますが、そのことに対して社会的ペナルティが課せられることは想定範囲でありながらも、その執拗さには辟易させられます。このまま不愉快な一年をまた送ることになるのでしょうか？

都合の良いことに古来より私達日本民族は大陸系民族と異なって過ぎ去ってしまった事については潔くさらりと水に流してしまう不思議な能力を授かっています。

我々にとって、この平成18年を幸せに暮らすために、歯科界の重しとなっているこれらの二つのしこりのうちどちらかを、それとも両方共にもはや忘れてしまうしかないようですネ。

世の中、心の持ち様で明るくも暗くもなるものです。大いに庶民の生活の知恵を活用したいものです。

ちょっぴり甘いお屠蘇を前にほろ苦い元旦となりました。

東原 「初心に戻ろう」

慶和 明けましておめでとうございます。

広報部でお世話になって12回目の新年を迎えました。今年48歳年男として、できる限り前向きな新年の抱負を立てようと考えた結果、「もう一度、初心に戻ろう」という気持ちになりました。しかし、実際によく考えてみると初心に戻るというのは、非常に困難なことです。まず、経験が邪魔をします。予後が見えるので、がむしゃらに一生懸命になるということができない。もっと寂しいことに、初心すらよく覚えてないといった状況です。

開業当時は、不安を抱えながらも患者さんに気を使い、スタッフに気を使い、神経をすり減らしながらもなんとか一日を終えたものでした。……今の自分はどうかろう……？結果、とりあえずできることから始めようという自分の妥協案に納得し、「人に優しく、自分に厳しく」に新年の抱負を変更しました。

先生方も開業当時の情熱をもう一度思い出して、新年を迎えてみてください。



訃

報



故 福島 吉夫 先生

享年91才（平成17年11月14日ご逝去）

赤磐市五日市102-2



故 黒川 将夫 先生

享年84才（平成17年12月6日ご逝去）

岡山市西古松355-3

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

会 員 異 動

11月末日現在 正会員数 1,050名

◎死亡

黒川 将夫 正会員 P10 岡山支部
〒700-0927 岡山市西古松355-3

福島 吉夫 正会員 P40 赤磐支部
〒709-0831 赤磐市五日市102-2

(P＝会員名簿のページ)

平成17年度国保請求書出向受付計実施画表

実施月日	実施場所	対象歯科医師会	受付会場予定
平成18年 2月10日(金) 午前10時～ 午後3時	倉敷市児島	児島支部	児島看護高等専修学校 倉敷市児島小川町3672
	赤磐市山陽	赤磐支部	赤磐医師会病院 赤磐市下市187-1
	西大寺	岡山支部（西大寺地区） 瀬戸内支部	西大寺医師会 岡山市西大寺中2-16-41
3月10日(金)	井原市 総社市	井原支部 吉備支部 岡山支部（足守、高松地区）	井原市医師会（フレスタ3階） 吉備医師会

事務局だより

1月の収納金

1. 本 会

- (1) 診療報酬割会費（社保，国保10月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を社保分から控除）

2. 全国歯科医師国保組合

- (1) 収入割，均等割保険料調定額
 (2) 収入割保険料（平成16年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

- (1) 年金拠出金（2月分）

11月 会の動き

1 日	編集委員会 平成17年度岡山県保健衛生功労者表彰式 (小林会長) 岡山県教育庁福利課と面会 (平岩理事)	地域保健関係職員等研修会（歯科保健研修） (大村満晴先生) 三地区各当番県打合せ
2 日	中国地区歯科医師会親睦野球大会前夜祭 公益法人実務研修会 マクロ建築設計等と打合せ（学院）	11日 編集委員会 都道府県歯科医師会地域保健・産業保健担当 理事連絡協議会 (平岩理事) 本会歯科衛生学院推薦入試選考委員会
3 日	中国地区歯科医師会親睦野球大会 第5回全国障害者スポーツ大会マウスガード 作製ボランティア（～6日）	全国大会（会場）打合せ 12日 第26回全国歯科保健大会 第25回日本口腔インプラント学会中国・四国 支部総会・学術大会・懇親会（～13日） (小林会長，竹下理事)
4 日	検死 全国大会広報委員会	岡山県医師会講演会 検死
5 日	本会歯科衛生学院推薦入試 社会保険部検討委員会	13日 文化事業部会「大原美術館」
8 日	検死 全国大会広報委員会	15日 編集委員会 学術部正・副委員長会 都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会 (酒井専務)
9 日	全国大会広報委員会 全国大会（司会）打合せ 医療管理部小委員会（学会準備委員会）	全国大会（司会）打合せ
10日	理事会 マウスガード作製ボランティア感謝状贈呈式 第55回全国学校保健研究大会（中里委員長）	16日 第69回全国学校歯科保健研究大会前日打合兼 懇親会（三役，黒住常務，平岩理事） 学院と重藤組・マクロ建築設計と打合せ

- | | |
|--|--|
| <p>17日 第69回全国学校歯科保健研究大会（～18日）</p> <p>19日 平成17年度日本歯科医療管理学会中国支部学術大会・総会（～20日）
広島県歯会長と面会</p> <p>22日 編集小委員会
選挙管理委員会
本会歯科衛生学院臨床実習医院事前協議会</p> <p>23日 第6回歯ッピーフォーラム（小林会長）</p> <p>24日 第9回日歯理事会（小林会長）
岡山社会保険事務局への出向
（黒住常務，平岩理事）
医事処理小委員会
編集小委員会</p> <p>25日 理事会
倉敷中央病院との面談</p> | <p>26日 第53回国際歯科研究学会日本部会（JADR）
総会・学術大会（藤井常務，小林理事）
中国・四国・九州地区歯科医師会会長会議
（小林会長）
中国・四国・九州地区歯科医師会役員連絡協議会
（三役，渡里・竹下理事）
医療制度改悪反対決起集会</p> <p>28日 岡山県保健医療計画策定協議会
（國遠副会長）
第665回支払基金幹事会（小林会長）
本会歯科衛生学院臨床実習医院事前協議会
（2回目）</p> <p>29日 岡山地方社会保険医療協議会（齋藤常務）
本会歯科衛生学院平成17年度教育懇談会</p> <p>30日 第4回岡山医療訴訟連絡協議会（江口理事）
県保健福祉部施設指導課と面会（藤井常務）
都道府県歯科医師会事務長事務連絡会
（高原事務局長代理）</p> |
|--|--|

1月・2月 本会の予定

- | | |
|--|---|
| <p>1月5日 津山支部新年会
（三役，西田・小林・江口・西岡理事）</p> <p>12日 理事会</p> <p>14日 児島歯科医師会新年会（原副会長）
玉野市歯科医師会新年会
（國遠副会長，西田理事）
新見支部新年互礼会
（小林会長，酒井専務，大嶋常務）
本会歯科衛生学院一般入試
社会保険部検討委員会</p> <p>17日 共済事業部会幹事会</p> <p>19日 理事会</p> <p>21日 新入会員社保研修会
平成18年度岡山県医師会新年祝賀会
（三役・大嶋理事長）</p> | <p>23日 社保小委員会</p> <p>25日 個別指導
都道府県歯科医師会介護保険担当理事
連絡協議会（平岩理事）</p> <p>26日 診療報酬等支払運営委員会
（原副会長）</p> <p>28日 青少年問題シンポジウム～青少年100
人対100人委員会～（平成17年度第2
回「青少年問題を考え，行動する100
人委員会」）（國遠副会長）</p> <p>31日 本会歯科衛生学院職員会議</p> <p>2月6日 本会会長選挙公示日</p> <p>18日 監事会
予算・決算特別委員会</p> <p>26日 本会会長選挙投票日</p> |
|--|---|

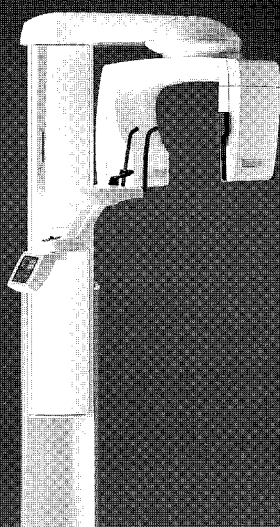
1月・2月 支部の予定

- | | |
|--|---|
| <p>1月5日 津山支部例会, 新年互礼会
6日 岡山支部評議員選挙公示
児島支部定例理事会
10日 岡山支部理事会
12日 岡山支部評議員選挙立候補届出締切り
玉島支部役員会
14日 御津支部臨時総会及び新年会
児島支部新年会
玉野支部新年会
瀬戸内支部新年会
新見支部新年互例会
19日 勝・英支部定例会
真庭支部新年支部会
21日 赤磐支部新年会
笠岡歯科技工専門学校一般2次入学試験
22日 岡山支部第184回臨床放談会
23日 倉敷支部三役会
24日 岡山支部理事会
25日 津山支部理事会
都窪支部理事会</p> | <p>27日 岡山支部選出県歯代議員選挙公示, 監事会
倉敷支部理事会
28日 児島支部学術講演会
29日 岡山歯科技工専門学校第三次入学試験
2月2日 岡山支部選出県歯代議員選挙立候補届出締切り
津山支部例会, 臨時総会
3日 児島支部定例理事会
笠岡支部理事会
5日 岡山支部評議員選挙投票日
8日 玉野支部理事会
9日 玉島支部役員会
14日 岡山支部理事会
新見支部理事会
20日 津山支部理事会
23日 倉敷支部定時総会
26日 岡山支部選出県歯代議員選挙投票日
28日 岡山支部理事会
3月8日 玉野支部理事会</p> |
|--|---|

ProMax プロマックス

SCARA テクノロジー採用。 パノラマ/セファロ X線撮影装置 フィルム/デジタル

'GC'



【仕様】

●本体寸法=961(1,939)mm(幅)×1,228mm(奥行)×2,432mm(高さ)
●重量=119(137)kg●電源電圧=AC100V 50/60Hz●焦点寸法=0.5×0.5mm●管電圧=AC100V 50/60Hz●照射時間=2.5~16秒、4~12秒(トモグラフィ)、(10~17秒)総透過=2.5mmAl当量●CCD センサ有効受光面積=9×136(270)mm●拡大率=1.2倍、1.5倍(トモグラフィ)、(1.13倍)●ピクセルサイズ=33μm●イメージピクセルサイズ=130/99/66(パノラマのみ)μm

【包装・希望医院価格】

●プロマックス スカラ3デジタルPan-式=¥8,050,000●プロマックス スカラ3デジタルPan/Ceph-式=¥9,790,000●プロマックス アドバンスプログラムD=¥413,000●プロマックス デジタルリニアトモグラフィ=¥525,000●プロマックス 垂直分割撮影プログラム-式=¥123,000●プロマックス アドバンスプログラムDアップグレードバージョン-式=¥447,000●プロマックス垂直分割撮影プログラム アップグレードバージョン-式=¥150,000

医療用具承認番号:21400BZY00240000号

※掲載のデータおよび希望医院価格は2004年10月現在のもので(消費税は含まれておりません)。

株式会社 ジーシー

輸入・発売元 株式会社 ジーシー / 製造元 PLANMECA

DIC (デンタルインフォメーションセンター)
東京都文京区本郷3-2-14 〒113-0033

フリーダイヤル ☎ 0120-416480

受付時間 9:00a.m.~5:00p.m. (土曜日、日曜日、祭日を除く)

※アフターサービスについては、最寄りの営業所へお願いします。

www.gcdental.co.jp/

支店 ●東京 (03)3813-5751 ●大阪 (06)4790-7333

営業所 ●北海道 (011)729-2130 ●東北 (022)283-1751 ●名古屋 (052)757-5722 ●九州 (092)441-1286

3大疾病などになったら、
毎年、生活資金※¹をお受け取りいただけます！※²※³
もちろん以後の保険料は、いただきません！※²※⁴

新「堂堂人生」

人生を力強く生きて行くための保険。

○5年ごと利差配当付更新型終身移行保険(5年ごと配当タイプ)○新「堂堂人生」は、「堂堂人生」にインカムサポート(特定状態収入保障特約)を付加した場合の販売愛称です。○インカムサポートは、必ず保険料払込免除特約(H13)とセットでお申込みいただきます。※¹生活資金として、インカムサポート年金(終身または5年・10年・15年)をお受け取りいただけます。※²例えば、がんの場合、責任開始期から90日以内に罹患した乳がんなど、年金等のお支払いや保険料払込免除の事由に該当しない場合があります。※³インカムサポートよりお支払い。※⁴保険料払込免除特約(H13)により免除。○詳しくは、専用のパンフレットおよび保障設計書など会社所定の資料を必ずご覧ください。

第一生命保険相互会社 岡山支社

〒700-8738 岡山県岡山市駅前町 2-1-1 TEL 086-225-4141(代)

第一生命ホームページ

<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

(登) C17H0451 (H17.7.14)

日本生命

お金が使われるなら。

もし愛する人のために、

生命をふきこむことはできません。

愛情をこめることはできます、

けれどお金に、

愛情をお金で代がなうことはできません。

こめられています。

人間の未来への切ない望みが

人間の血が通っています。

けれど目に見えぬこの商品には、

パソコンの便利さありません。

保険にはダイヤモンドの輝きもなければ、

愛する人のために

谷川俊太郎



すべてはコミュニケーションから始まります。

「治療」から「ケア」までサポートします。

患者さんの「口腔の健康」を一生見守る。そんな、患者さんの健康管理のための診療環境として、「NEW POS A&C 診療セット」は、新たなスタイルで登場しました。治療からケアまでをサポートする、患者さんが求める快適な診療ができる21世紀に向けての診療設備です。

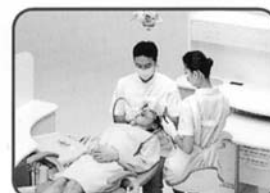
患者さんと先生の6つのポジション



患者導入ポジション



カウンセリングポジション



12時診療ポジション



9時診療ポジション



ブラックコントロールポジション



対面ポジション

NEW
patient oriented system
pos A&C
Amenity & Communication



■標準価格 4,207,000円より ■医療用具承認番号 20200BZZ01453
※標準価格は1999年5月21日現在のものです。標準価格には消費税等は含まれておりません。

製造 株式会社モリタ製作所

JQA-0933
品質システムの国際規格
ISO 9001

Best Solution Partner

本社●岡山市今2丁目2-9 代表電話●086-243-3003 ホームページ●<http://www.towa-hi-sys.co.jp>

お客様ひとりひとりのカーライフに対応する補償内容を可能にした
ニーズ細分型自動車保険「ONE-do」や
インターネットによる契約と行き先別にリスクを細分することで
最大45%（当社比）の割引を実現した新・海外旅行保険「off!（オフ）」など。
あったらいいな、をカタチにする柔軟な発想ときめ細やかなサービス。
21世紀、日本の新しいライフスタイルにあった
高品質の安心を力強くご提供します。

日本の保険は、ジャパンが変える。



損保ジャパン

《担当営業支社》

株式会社 損害保険ジャパン

岡山支店 岡山総合支店 市場開拓グループ

TEL. (086) 225-1045 FAX. (086) 225-1220

〒700-0913 岡山市大供1丁目2-10

損保ジャパン岡山ビル 3F

《取扱幹事代理店》

株式会社安田火災岡山代理店

損保ジャパン・損保ジャパンひまわり生命専属代理店

TEL. (086) 231-2840 FAX. (086) 231-2890

〒700-0913 岡山市大供1丁目2-10

損保ジャパン岡山ビル 5F

※損保ジャパンは、第一生命と包括業務提携しています。



NEW

新製品

WiseStaff4

歯科用総合コンピュータシステム

With Solutions of Extended problems

もっと先へ。未来が始まる予感

デンタルオフィスの未来を見つめて、WiseStaff-4が新しいステップを踏み出します。

オープンコンセプトが実現する、快適環境

- ❶ 「WiseStaff-4」では、各社デジタルX線システムとの連携や、他のアプリケーションソフトとの連携が更に拡張しました。
- ❷ クライアントに専用のコンピュータを必要とせず、OSがWindowsでもMacintoshであっても端末として使用できます。
お手持ちのコンピュータをクライアントにすれば、他のアプリケーションソフトと並行して使用でき、各医院のスタイルに合った快適環境を実現します。



NHOSA

株式会社 **ノーザ**

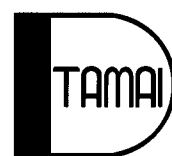
〒164-0011 東京都中野区中央1-21-4 (ノーザビル)
TEL.03-5348-1881 (代) FAX.03-5348-1885
<http://www.nhosa.com>

●北海道営業所 TEL.011-622-8041 FAX.011-622-8045
●茨城営業所 TEL.029-233-2882 FAX.029-233-2886
●埼玉営業所 TEL.048-645-2821 FAX.048-645-2830
●東京支店 TEL.03-5348-3381 FAX.03-5348-3385
●神奈川営業所 TEL.045-909-5781 FAX.045-909-5821

●名古屋支店 TEL.052-332-0327 FAX.052-332-1028
●大阪支店 TEL.06-6536-2187 FAX.06-6536-2287
●神戸営業所 TEL.078-367-5801 FAX.078-367-5805
●広島営業所 TEL.082-293-7618 FAX.082-293-7622
●福岡営業所 TEL.092-474-1777 FAX.092-474-4186

※ 記載内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承下さい。 ※ Windowsは米国マイクロソフト社の登録商標です。 ※ Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。 ※ 記載されている社名及び製品名は、各社の登録商標及び商品名です。 ※ 「WiseStaff」は、(株)ノーザの登録商標です。 ※ 接続メーカーにより操作性や内容及び制限が異なりますので、詳細は当社営業までお問い合わせ下さい。 ※ OS及びハードに一部制限がありますので、詳細は当社営業までお問い合わせ下さい。

NHOSAN11222004



タマキ

なによりも継続する心を大切に。

自然はつねに変わらない静寂の姿の中にも、
着実に年輪を刻みながら生きています。
悠久の時の流れのなかで、いつまでも継続して生きていく。
そこに偉大な生命の本質があるようです。
タマキが一番大切にしたいのも、そんな継続する心です。
私たちは今日まで75年間、歯科器材一筋に先生方のお役に立ちたいと
願ってまいりました。その気持ちをこれからも継承して、
さらなる歴史を刻んでおります。



御得意様に御満足頂くことが
タマキの最大の願いです

株式会社 **玉井歯科商店**

- 〒790-0011 松山店 松山市千舟町8-67-8 ☎089(941)1619
- 〒760-0073 高松店 高松市栗林町3-4-1 ☎087(831)4491
- 〒745-0071 徳山店 周南市岐山通り2-21 ☎0834(21)0400
- 〒751-0875 下関店 下関市秋根本町1-5-33 ☎0832(56)0330
- 〒683-0802 米子駐在所 米子市東福原6-2-32 ☎0859(23)3108

- 〒734-0014 広島店 広島市南区宇品西1-6-2 ☎082(251)1911
- 〒720-0805 福山店 福山市御門町2-4-37 ☎084(923)5867
- 〒700-0925 岡山店 岡山市大元上町12-19 ☎086(244)3429
- 〒690-0044 松江店 松江市浜乃木2-4-27 ☎0852(27)1916